2026年12月期 第3四半期 決算説明資料

オプテックスグループ株式会社
証券コード6914
2026年11月13日

<免責事項>
本資料に記載しております、オプテックスグループ株式会社の業績、戦略、事業計画等の将来予測を示す記述については、発表時点で入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が記述されている将来予測とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

本資料における FY2026 は、2026年1月1日から12月31日までの会計年度（2026年12月期） を指します。

© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

【ご参考】当社の事業セグメント概要

IA（インダストリアルオートメーション）事業

自動化装置関連

自動車向けの二次電池製造装置を提供



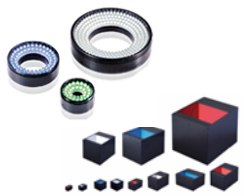
産業用PC関連

半導体製造装置向けの組込ボードや
空港向けの追尾用カメラを提供



検査用照明関連

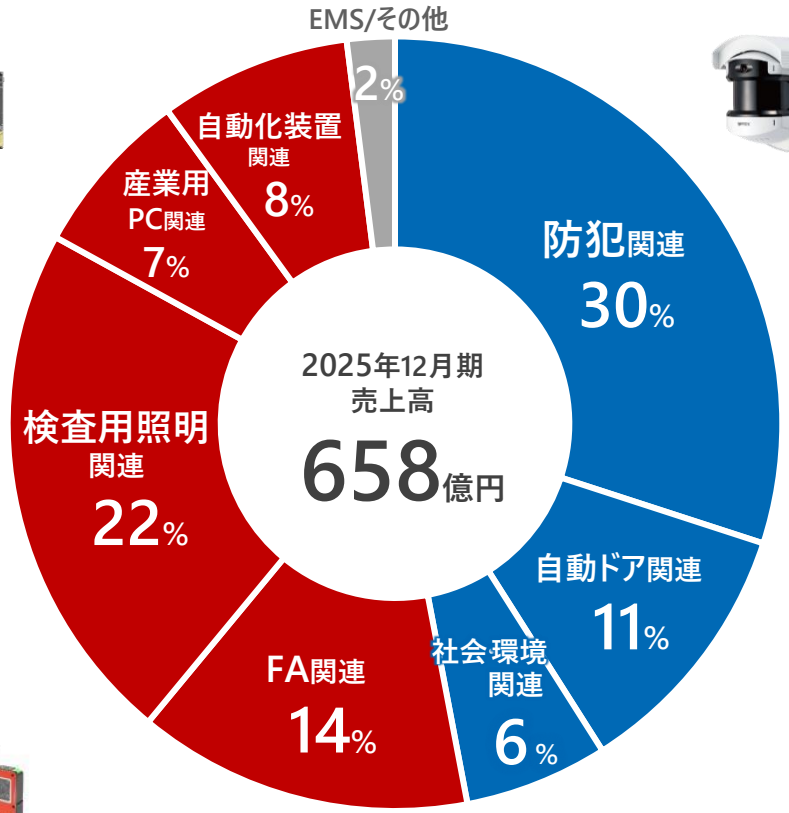
工場の検査工程で検査の品質向上に
役立つ照明を提供



FA関連

工場の生産工程で自動化・省人化に
役立つセンサーを提供





SS（センシングソリューション）事業



防犯関連

住宅、事業所、大型重要施設向けの
防犯センサーを提供



自動ドア関連

自動ドア用センサー、工場や倉庫の
シャッター用センサーを提供



社会・環境関連

駐車場向けの車両検知センサーや
上水・下水向けの水質計測センサーを提供

© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

1. 2026年12月期 3Q決算概要

2. 2026年12月期 業績予想（上方修正）

© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

2026年12月期 3Q決算のポイント

SS事業：Sensing Solution（センシングソリューション）事業
IA事業：Industrial Automation（インダストリアルオートメーション）事業

SS事業およびIA事業の業績好調を背景に、3Q累計の売上高・営業利益ともに過去最高を更新

売上高　前年同期比+18.7%

SS事業：データセンター等の大型重要施設向け（防犯関連）の販売が好調継続

IA事業：半導体、電気・電子部品向け（FA関連、検査用照明関連、産業用PC関連）の販売が好調に推移

営業利益　前年同期比+47.1%

・高収益製品（防犯関連の大型重要施設向けおよび検査用照明関連）の販売増加により、製品ミックス改善

・円安による為替影響も増益に寄与

© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

2026年12月期 3Q連結決算 総括

単位：百万円　（　）：対売上高比	FY2025 3Q (1-9月)実績	FY2026 3Q (1-9月)実績	増減率
売上高	47,666	56,584	+18.7%
売上総利益	25,235（52.9%）	30,771（54.4%）	+21.9%
販売費及び一般管理費	19,021（39.9%）	21,630（38.2%）	+13.7%
営業利益	6,214（13.0%）	9,141（16.2%）	+47.1%
経常利益	5,892（12.4%）	9,391（16.6%）	+59.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,058（10.6%）	6,568（11.6%）	+29.9%
1株当たり四半期純利益　(単位：円)	142.01	184.34	

為替レート	FY2025 3Q (1-9月)実績	FY2026 3Q (1-9月)実績
1USD	148.23円	158.54円
1EUR	165.54円	184.12円
1GBP	194.69円	213.23円

© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

2026年12月期 3Q連結決算 セグメント別 売上高・営業利益

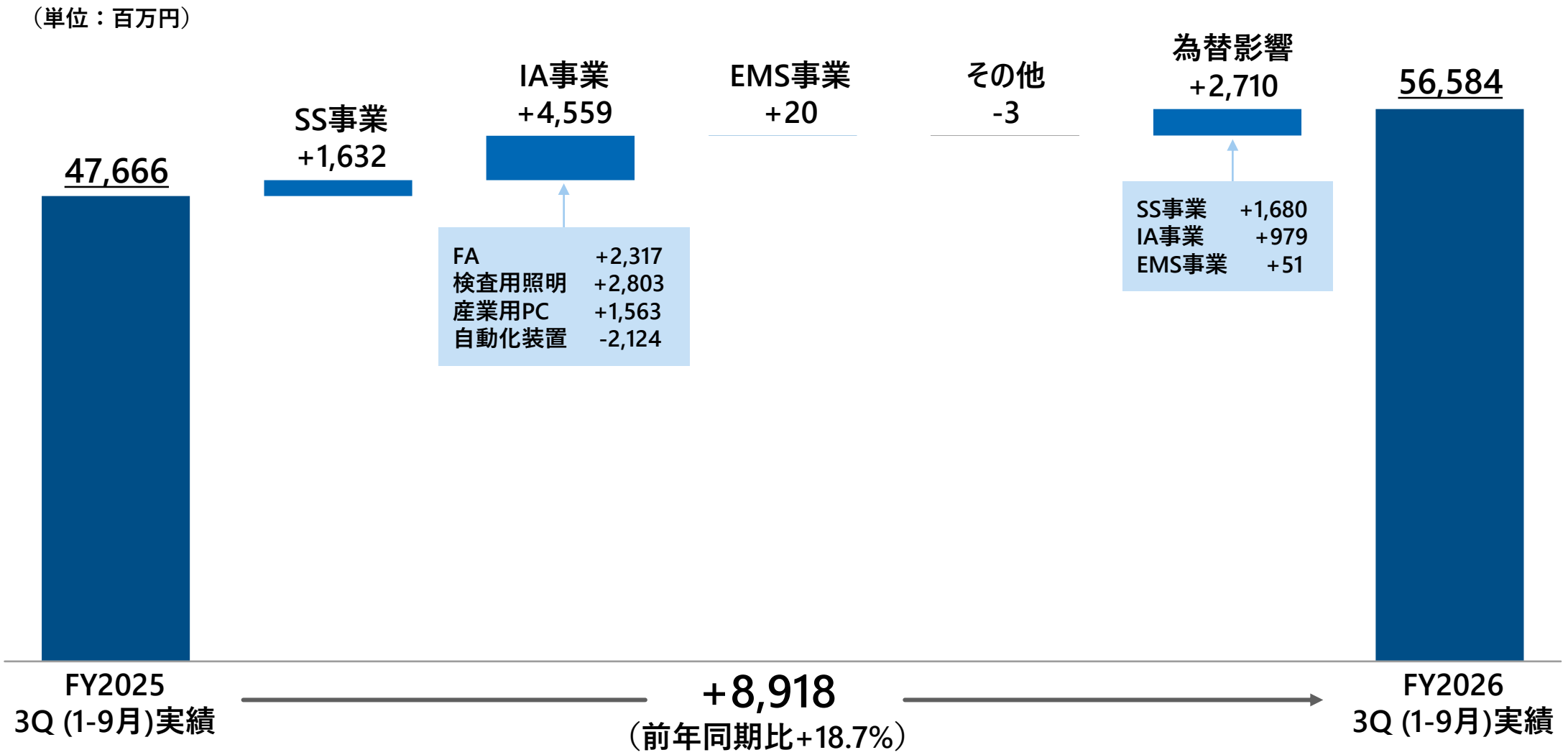
単位：百万円

	売上高			営業利益（営業利益率）		
	FY2025 3Q (1-9月)実績	FY2026 3Q (1-9月)実績	増減率	FY2025 3Q (1-9月)実績	FY2026 3Q (1-9月)実績	増減率
SS事業（センシングソリューション）	23,358	26,669	+14.2%	4,083（17.5%）	5,092（19.1%）	+24.7%
IA事業（インダストリアルオートメーション）	23,568	29,107	+23.5%	2,490（10.6%）	4,405（15.1%）	+76.9%
EMS事業	656	727	+10.8%	-154	118	—

※セグメント別の売上高は、セグメント間取引の売上高を消去した数値を表示しています。
※セグメント別の営業利益は、セグメント間取引の営業利益を含む数値を表示しています。

© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

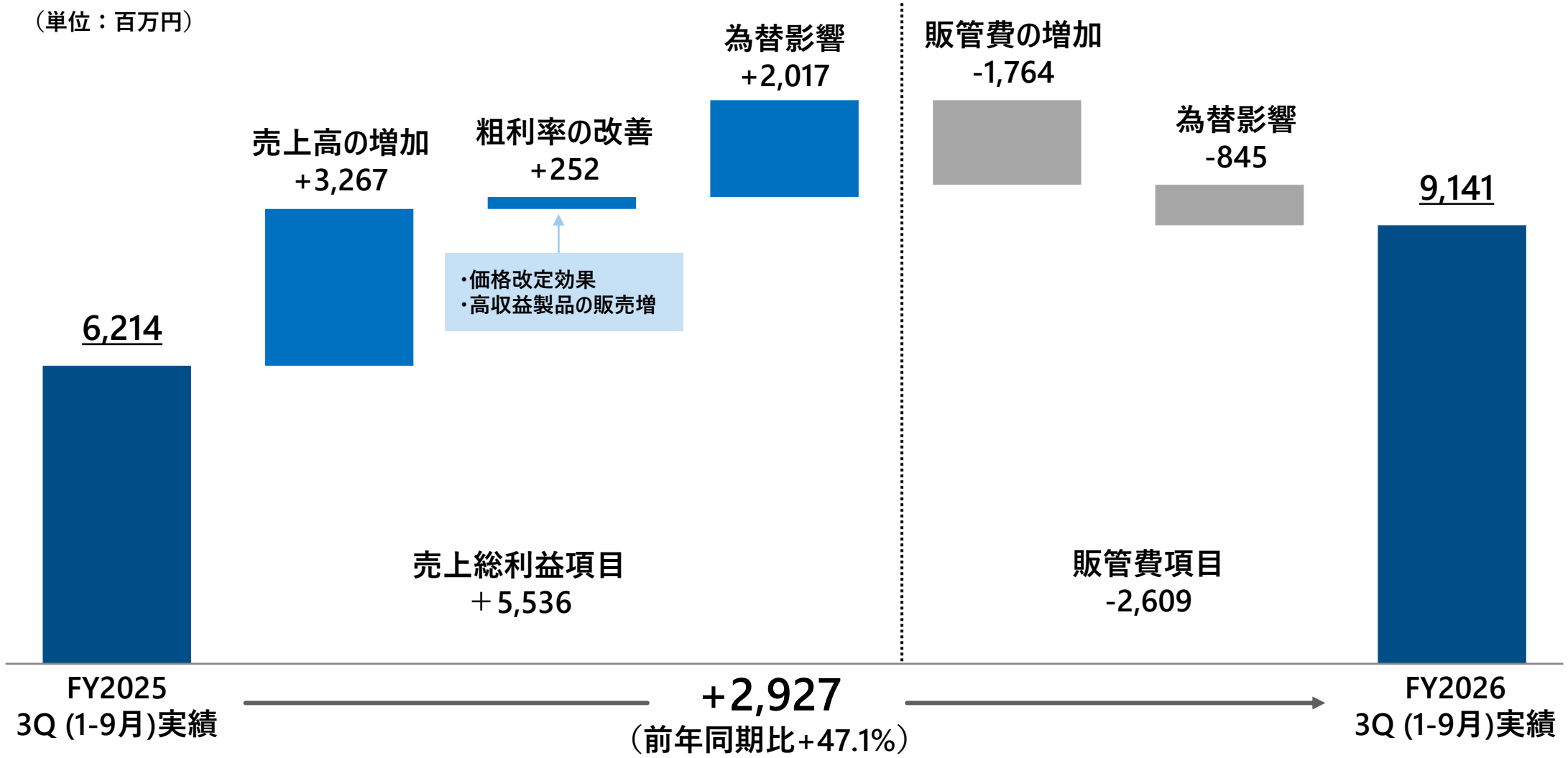
2026年12月期 3Q連結売上高 増減要因 前年同期比



© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

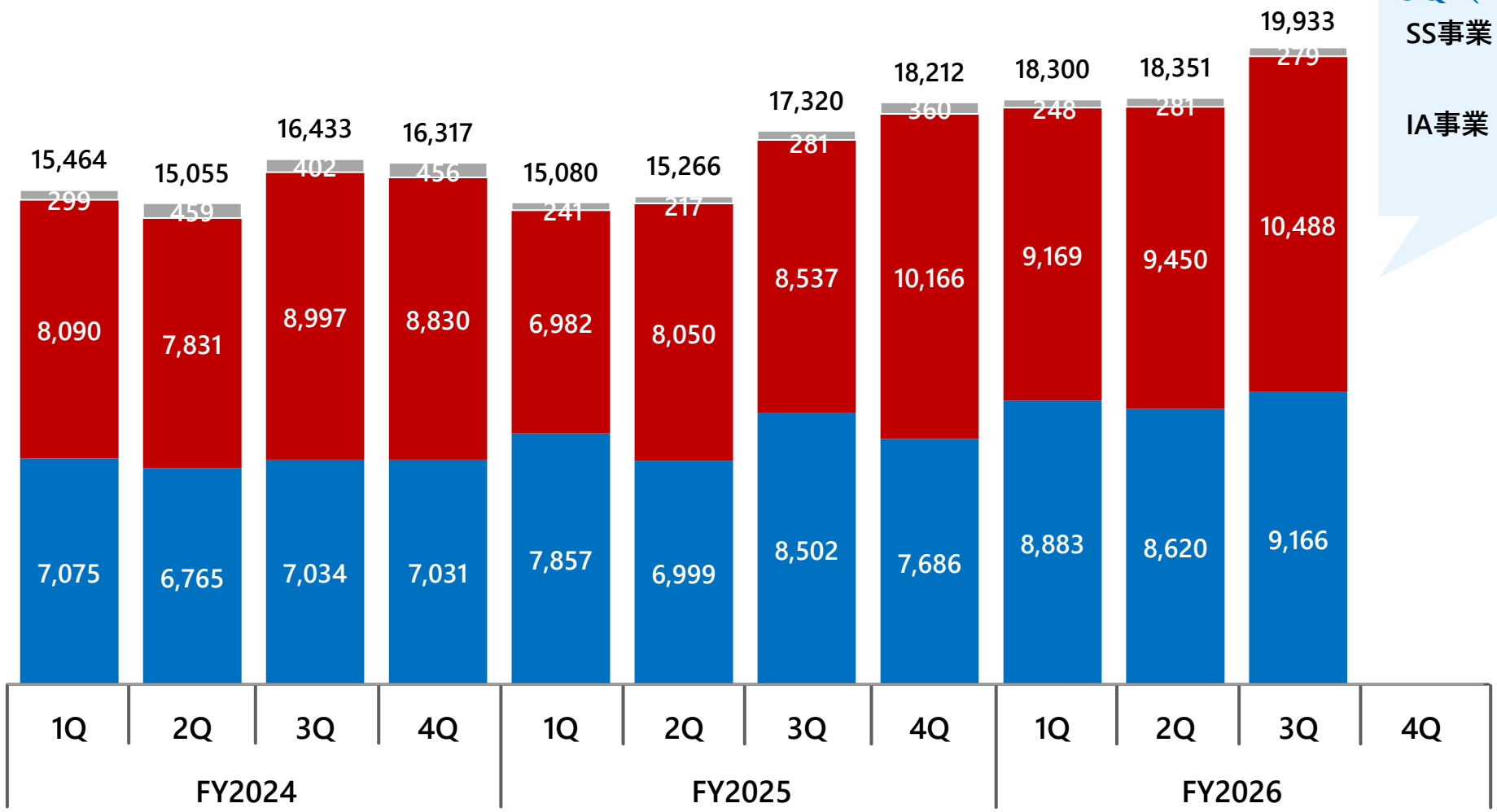
SS事業：Sensing Solution（センシングソリューション）事業
IA事業：Industrial Automation（インダストリアルオートメーション）事業

2026年12月期 3Q連結営業利益 増減要因 前年同期比



© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

連結売上高 四半期推移（FY2024-FY2026）



3Q（7月～9月）の売上業績

SS事業：データセンター等の大型重要施設向け（防犯関連）の販売が好調継続

IA事業：半導体・電気・電子部品向け（FA関連、検査用照明関連、産業用PC関連）の販売が好調継続

EMS/その他事業

IA（インダストリアルオートメーション）事業

SS（センシングソリューション）事業

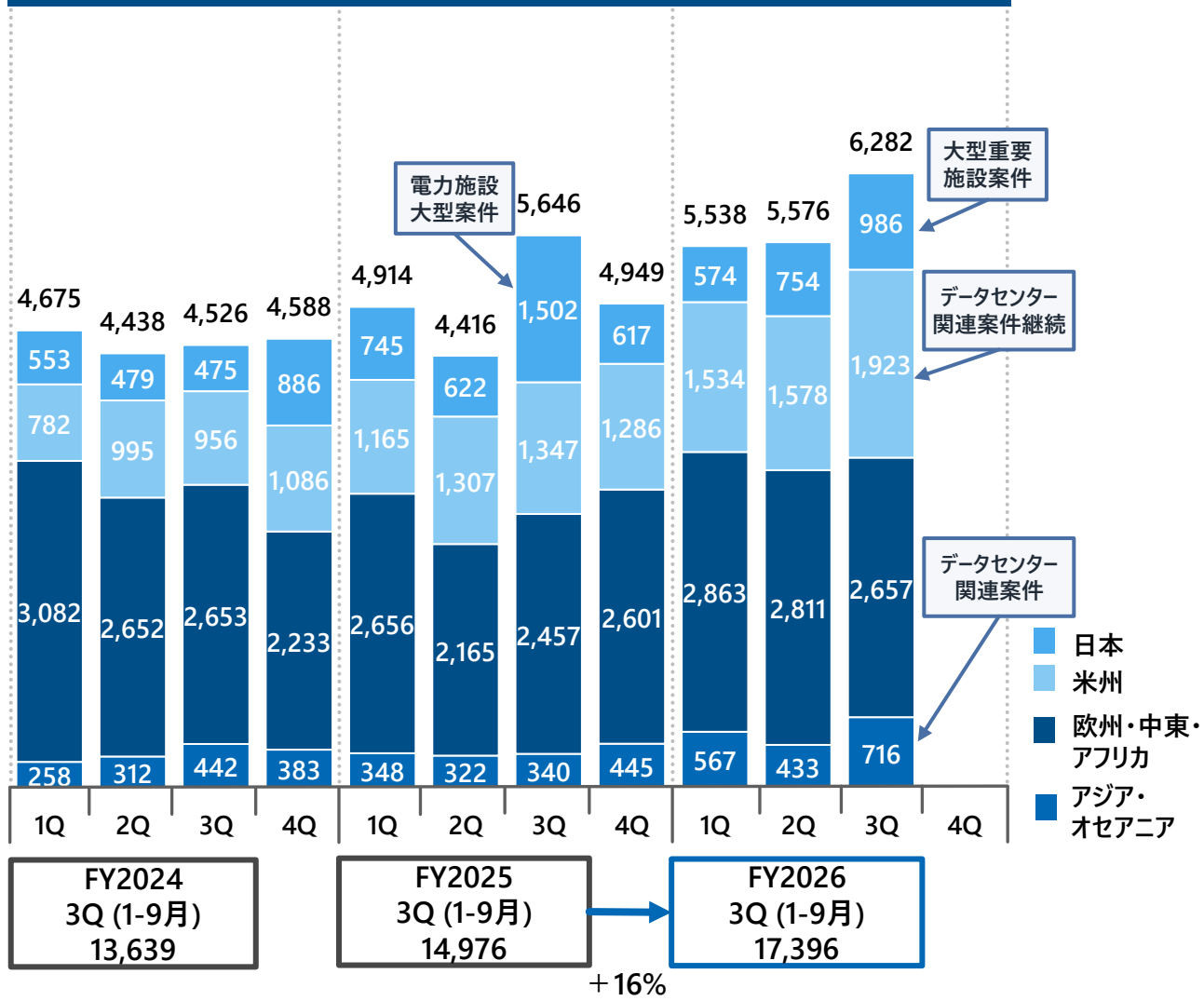
（単位：百万円）

© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

SS事業 – 防犯関連

地域	FY2026 3Q (1-9月) 業績のポイント
日本	・大型重要施設向けの販売が堅調 ・警備会社向けの販売が低調
米州	・データセンター含む大型重要施設向けに レーザースキャンセンサーの販売が好調
欧州・ 中東・ アフリカ	・データセンター含む大型重要施設向けに レーザースキャンセンサーの販売が順調
アジア・ オセアニア	・データセンター含む大型重要施設向けに レーザースキャンセンサーやLED照明の販売が好調

地域別・四半期売上高（単位：百万円）





データセンターでの侵入検知例



屋内用



屋外用

大型重要施設向け
レーザースキャンセンサー

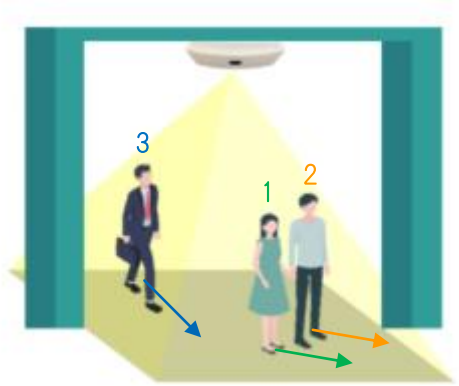
© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

SS事業 – 自動ドア関連

地域	FY2026 3Q (1-9月) 業績のポイント
日本	・自動ドア用センサーおよび商業施設向け客数情報システムの販売が堅調
米州	・自動ドア用センサー、シャッター用センサーの販売が好調
欧州	・自動ドア用センサーの販売が堅調

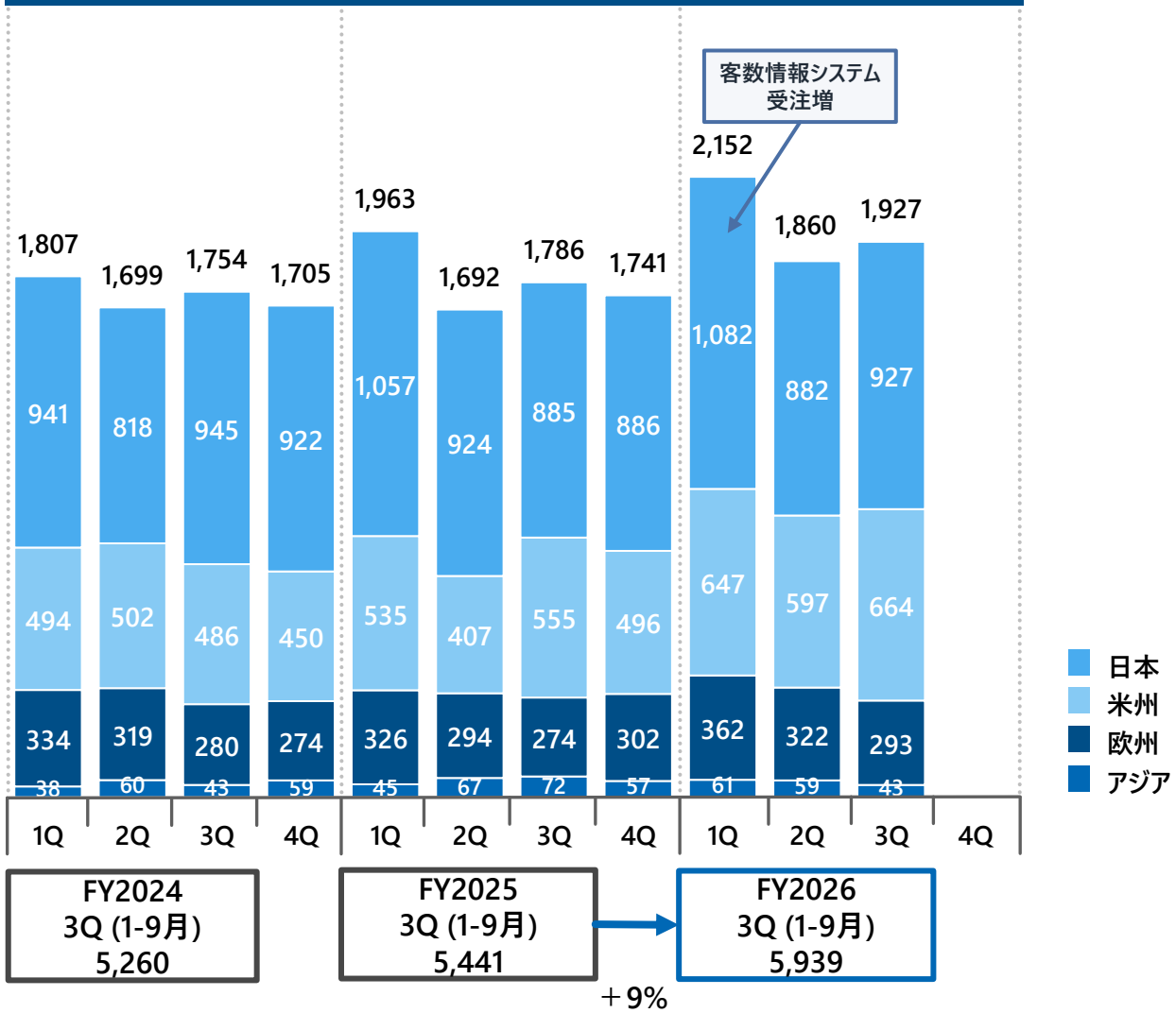


自動ドア用センサー



客数情報システム

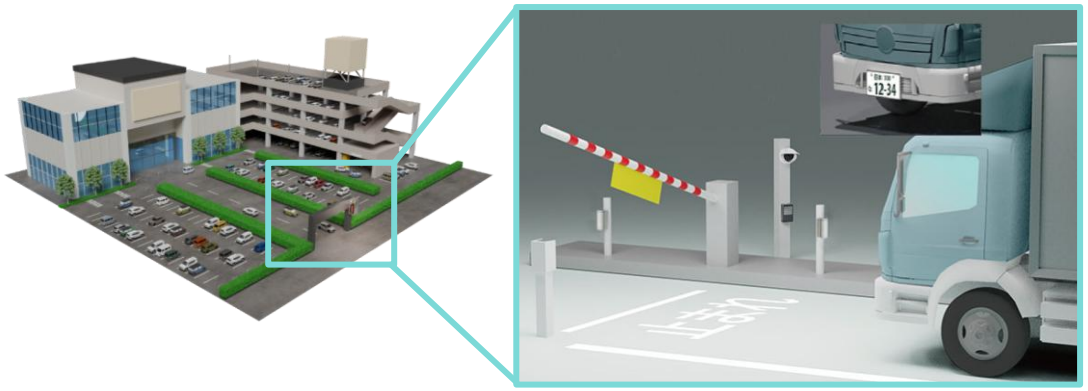
地域別・四半期売上高（単位：百万円）



© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

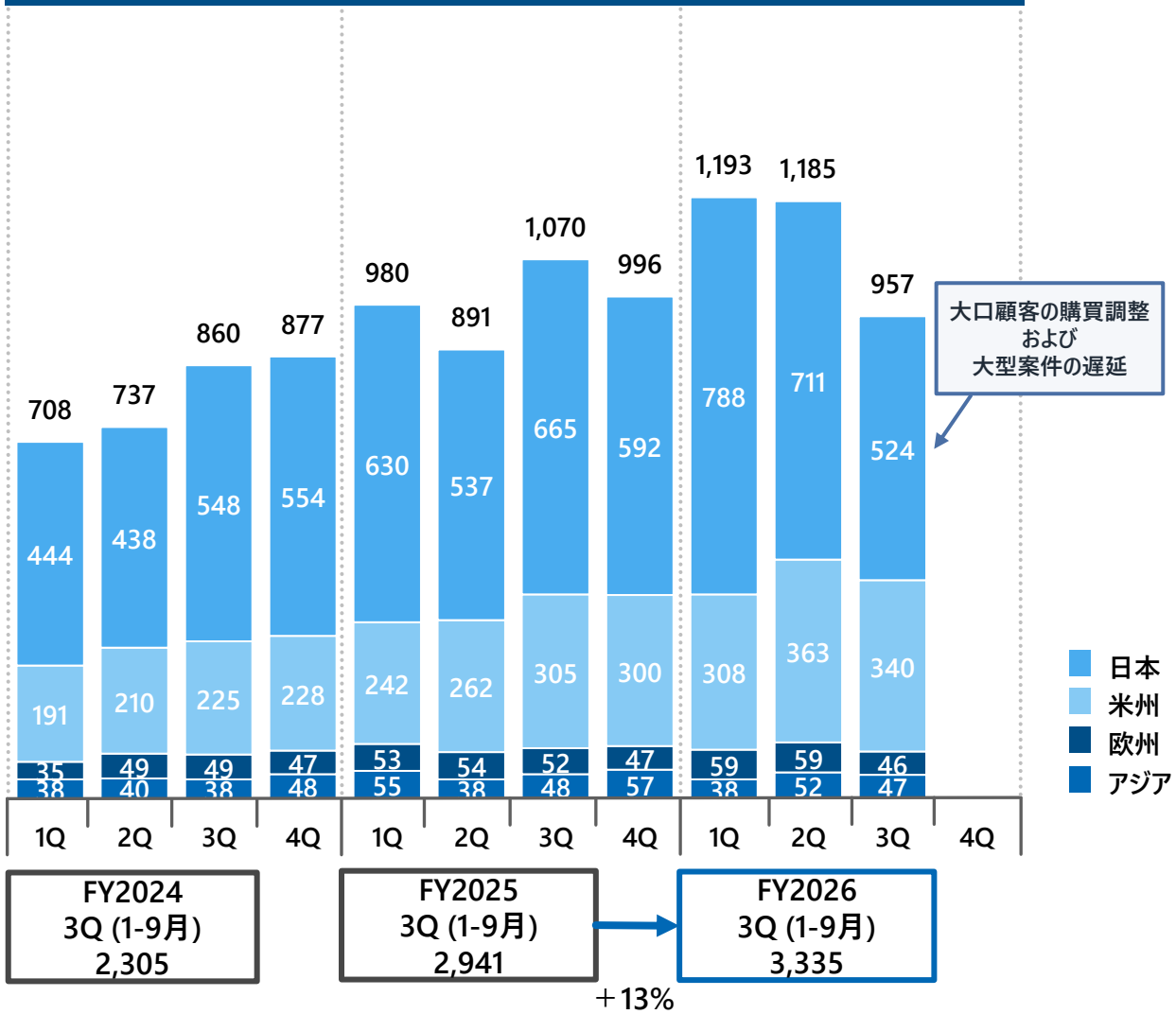
SS事業 – 社会・環境関連

地域	FY2026 3Q (1-9月) 業績のポイント
日本	・駐車場の車番認証用照明の販売は堅調 満空管理システム販売は大口案件遅延により軟調 ・上水・工場排水向け等の水質センサー関連の販売および食品メーカー向けの衛生管理機器の開発・製造受託ビジネスが好調
米州	・駐車場のゲート開閉用途で車両検知センサーの販売が好調



車番認証システム

地域別・四半期売上高（単位：百万円）



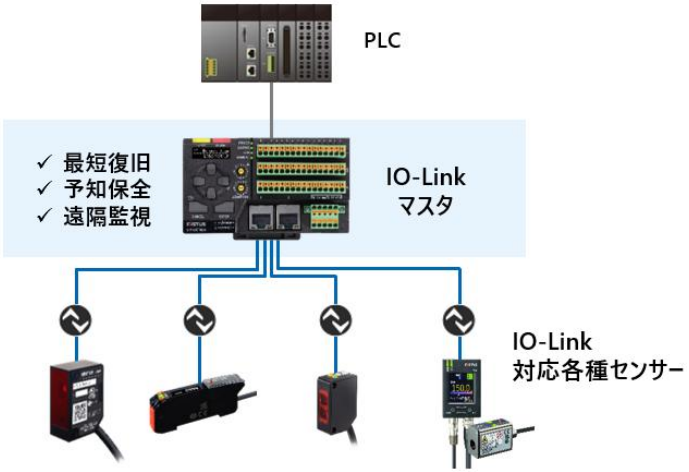
© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

IA事業 – FA関連

地域	FY2026 3Q (1-9月) 業績のポイント
日本	・半導体、電気・電子部品向けにFAセンサーおよび検査用LED照明の販売が好調
欧州	・主要顧客（OEM先）の米国および中国の最終顧客向けに販売が好調
アジア	・中国での電池、電気・電子部品向けの販売が堅調

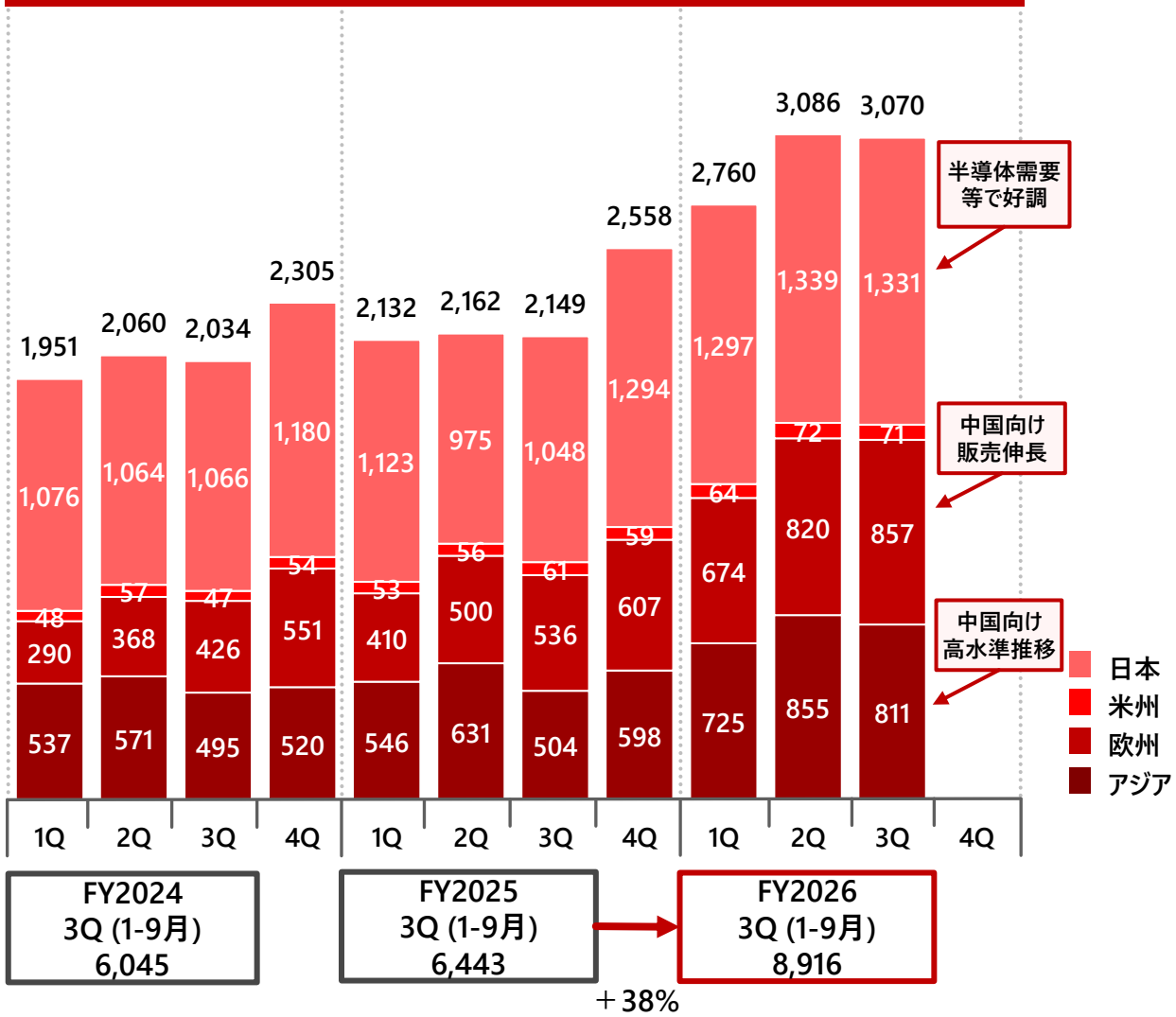


半導体業界向けの
変位センサー使用例



IO-Linkで各種センサーの
状態・情報を見える化

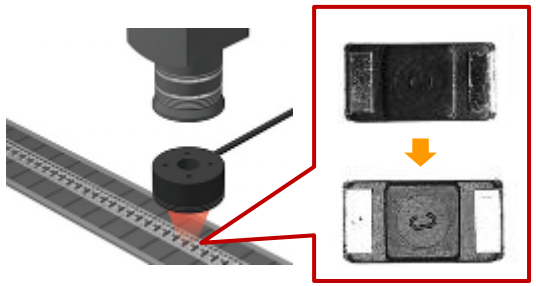
地域別・四半期売上高（単位：百万円）



© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

IA事業 – 検査用照明関連（旧MVL関連）

地域	FY2026 3Q (1-9月) 業績のポイント
日本	・AIおよびデータセンター向けの設備投資需要拡大により、半導体、電気・電子部品向け販売が好調
米州	・物流業界向けを中心とした販売が好調
欧州	・物流業界向けにフランス子会社製品の販売が好調
アジア	・中国、東南アジアで半導体関連向け販売が好調

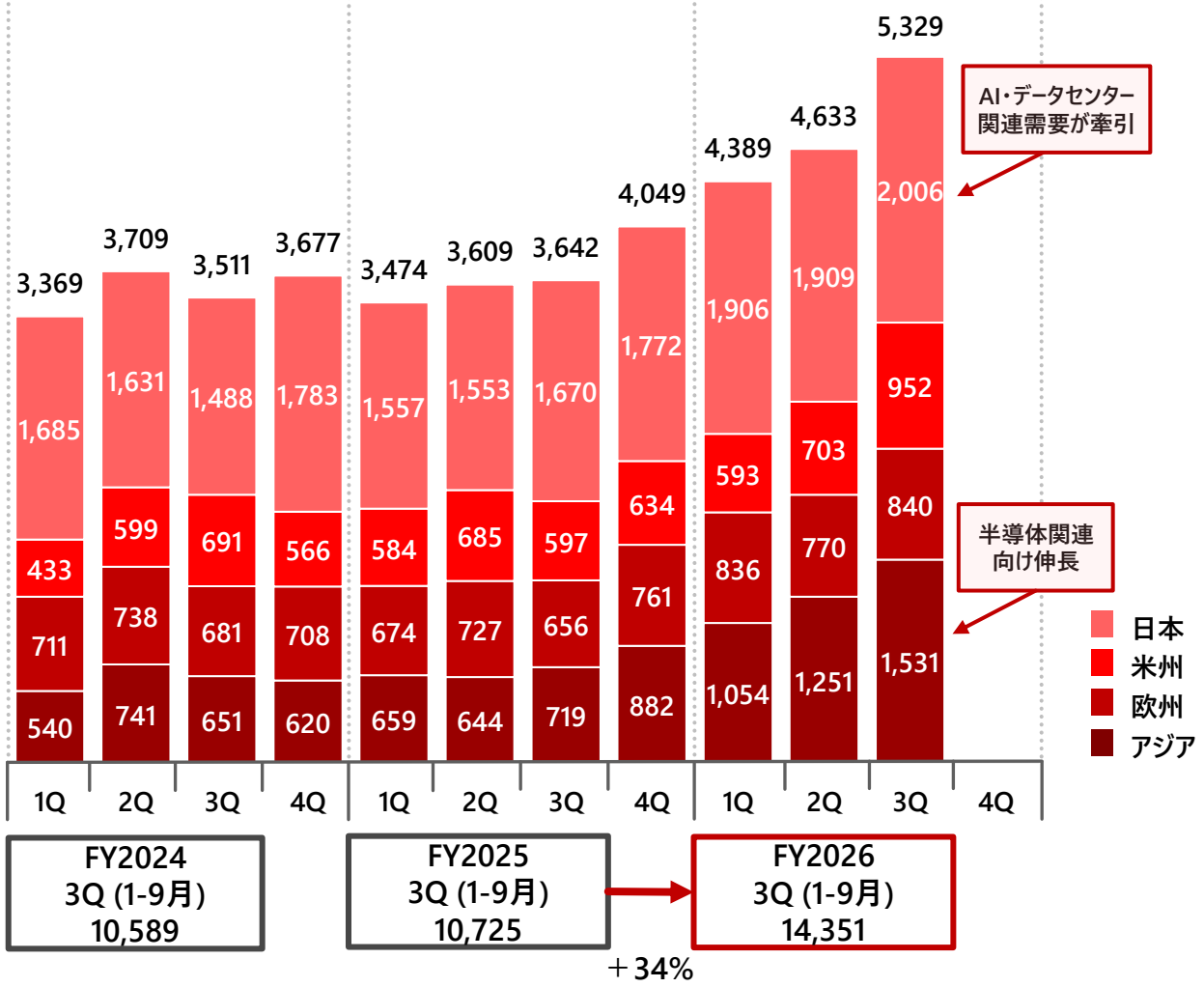


電子部品の外観検査ソリューション



物流業界向け使用イメージ

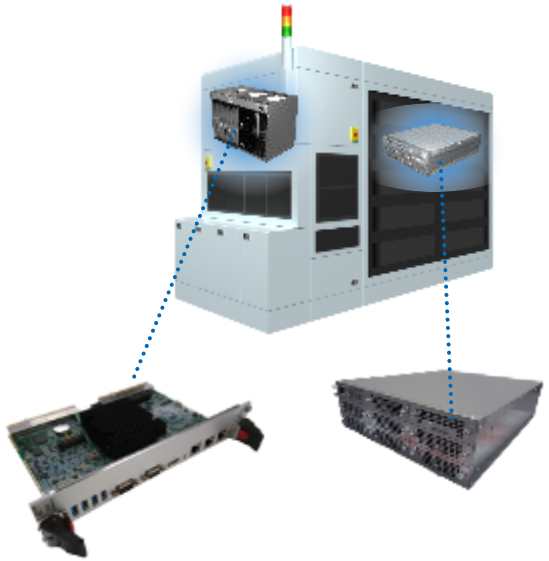
地域別・四半期売上高（単位：百万円）



© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

IA事業 – 産業用PC関連（旧IPC関連）

地域	FY2026 3Q (1-9月) 業績のポイント
日本	・半導体製造装置向けの販売が好調

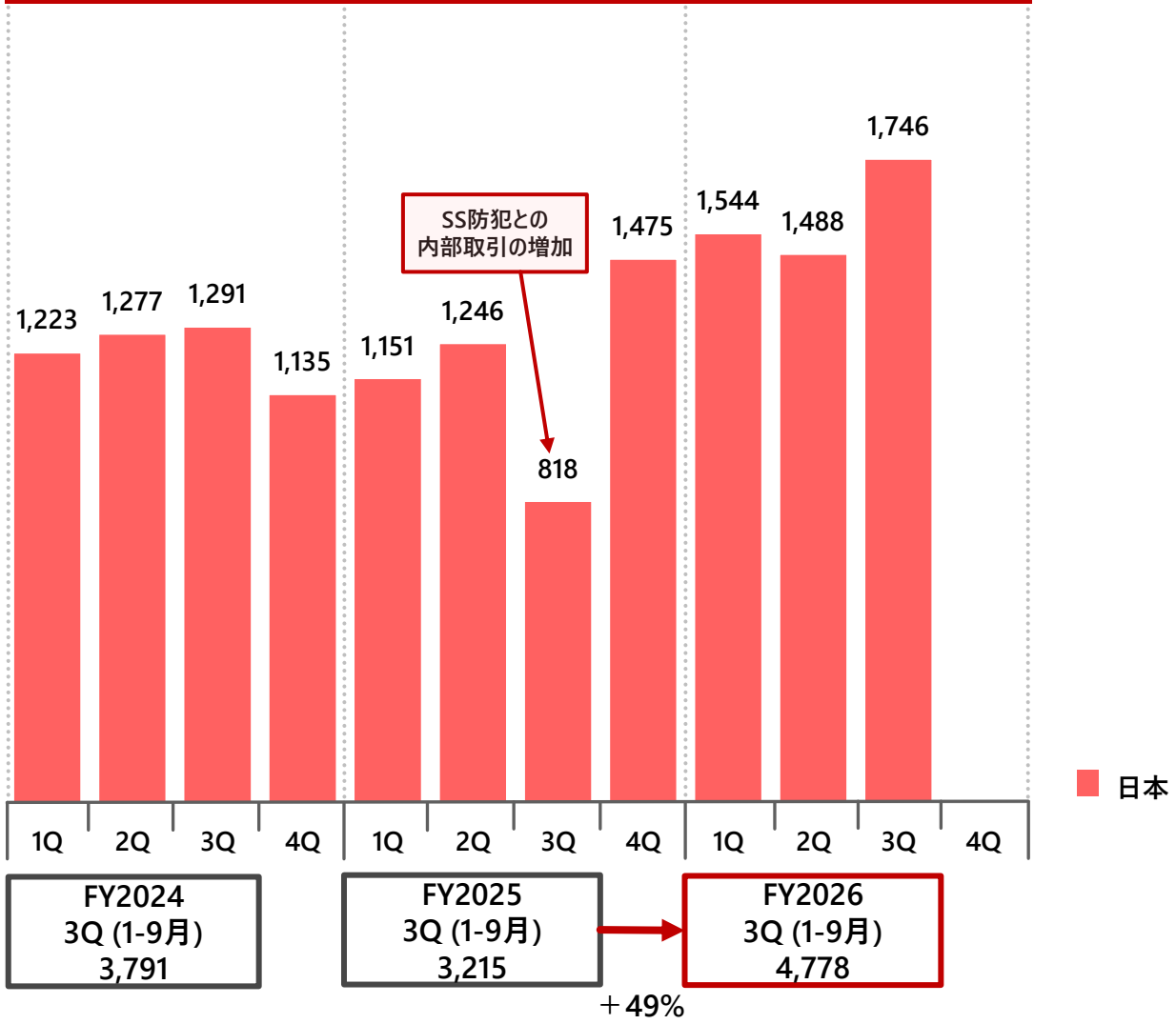


半導体製造装置の産業用コンピュータ



追尾用カメラ

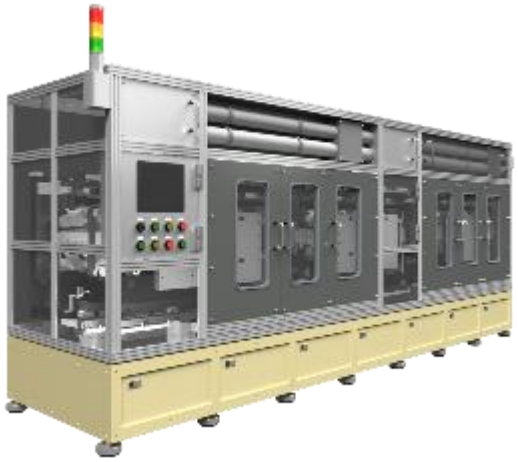
地域別・四半期売上高（単位：百万円）



© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

IA事業 – 自動化装置関連（旧MECT関連）

地域	FY2026 3Q (1-9月) 業績のポイント
日本	・EV向けの設備投資需要の一巡により、 二次電池製造装置の売上が減少

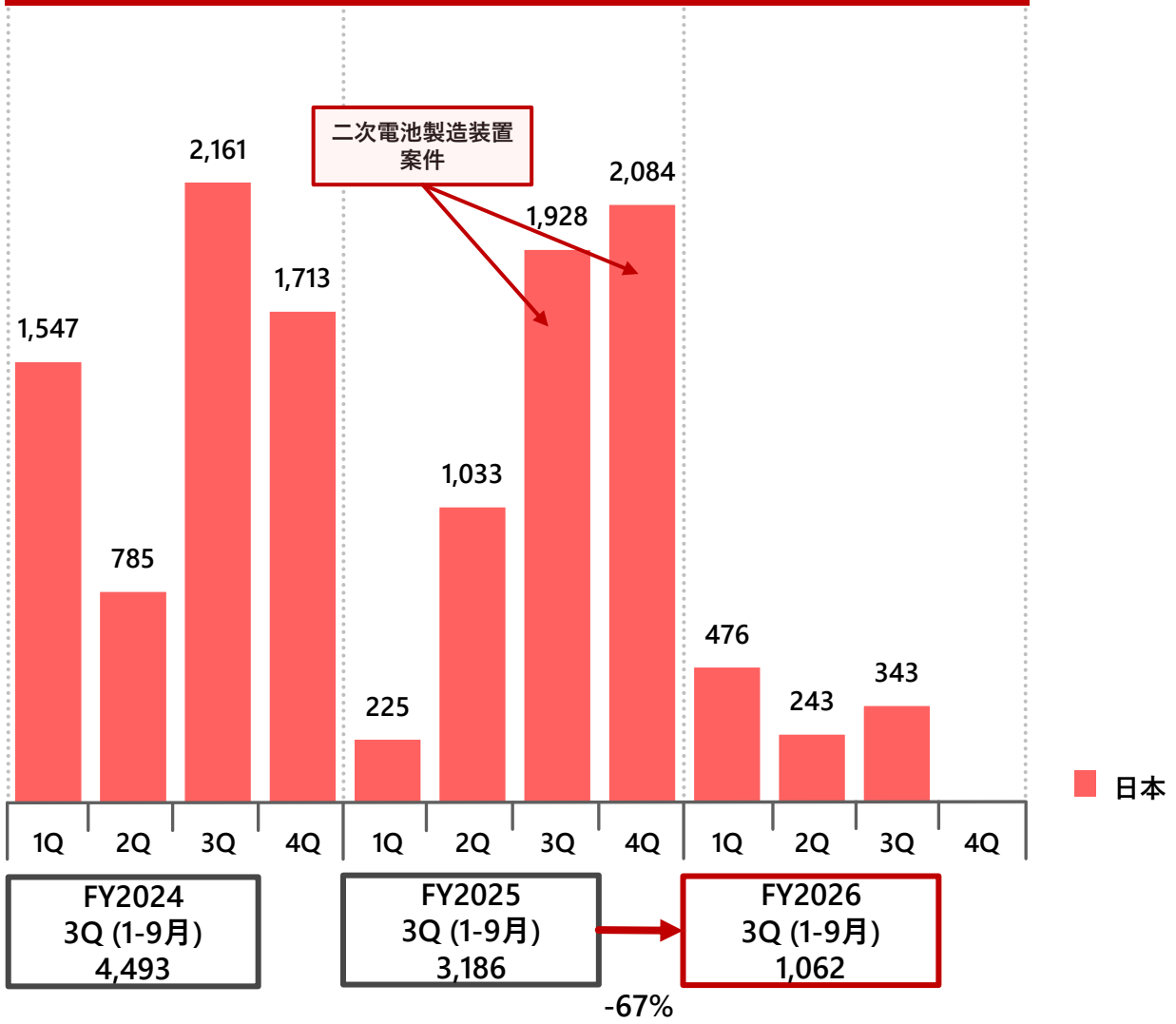


電気自動車・ハイブリッド車向け
二次電池製造装置



非接触 三次元形状測定機

地域別・四半期売上高（単位：百万円）



© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

1. 2026年12月期 3Q決算概要

2. 2026年12月期 業績予想（上方修正）

© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

2026年12月期 連結業績予想（上方修正） 過去最高業績を更新する見込み

単位：百万円　（　）：対売上高比	FY2026 前回予想（7月）	FY2026 修正予想	対前回予想 増減率	対前年 増減率	FY2025 実績
売上高	73,300	75,000	+2.3%	+13.8%	65,878
売上総利益	39,050（53.3%）	40,380（53.8%）	+3.4%	+17.8%	34,291（52.1%）
販売費及び一般管理費	28,550（38.9%）	29,380（39.2%）	+2.9%	+12.4%	26,137（39.7%）
営業利益	10,500（14.3%）	11,000（14.7%）	+4.8%	+34.9%	8,153（12.4%）
経常利益	10,800（14.7%）	11,200（14.9%）	+3.7%	+40.0%	8,000（12.1%）
親会社株主に帰属する当期純利益	7,700（10.5%）	7,900（10.5%）	+2.6%	+19.8%	6,595（10.0%）
1株当たり当期純利益（円）	216.11	221.70			185.16

為替レート

	FY2026 前回予想（7月）	FY2026 修正予想	FY2025 実績
1USD	156.59円	157.65円	149.71円
1EUR	182.26円	183.09円	169.00円
1GBP	208.88円	211.17円	197.25円

為替感応度（FY2026予想、1円変動による影響額）

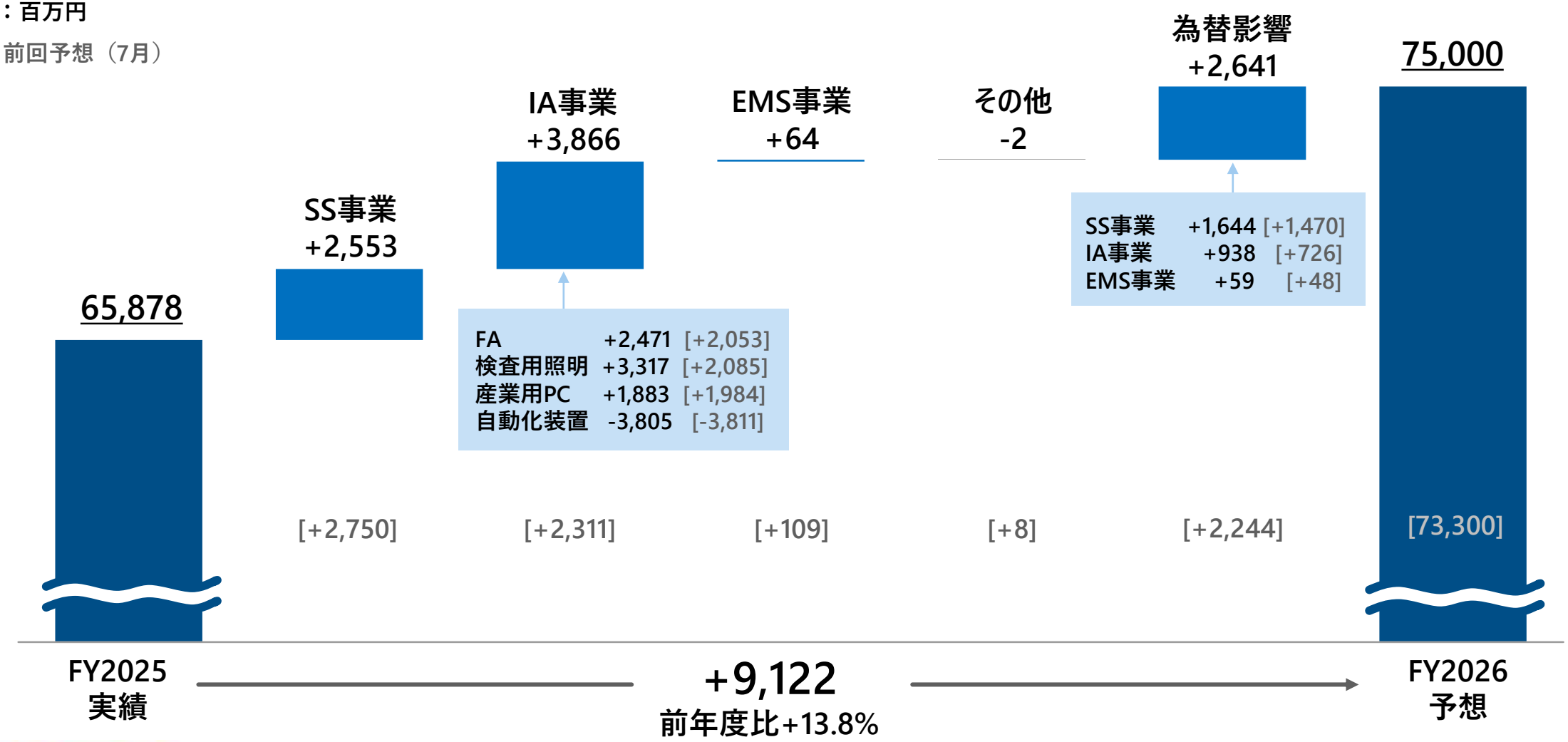
	売上高	営業利益
USD1円相当	約140百万円	約60百万円
EUR1円相当	約60百万円	約30百万円
GBP1円相当	約30百万円	約10百万円

© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

2026年12月期 連結業績予想 売上高 増減要因 前年度比

単位：百万円

[ ]：前回予想（7月）



© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

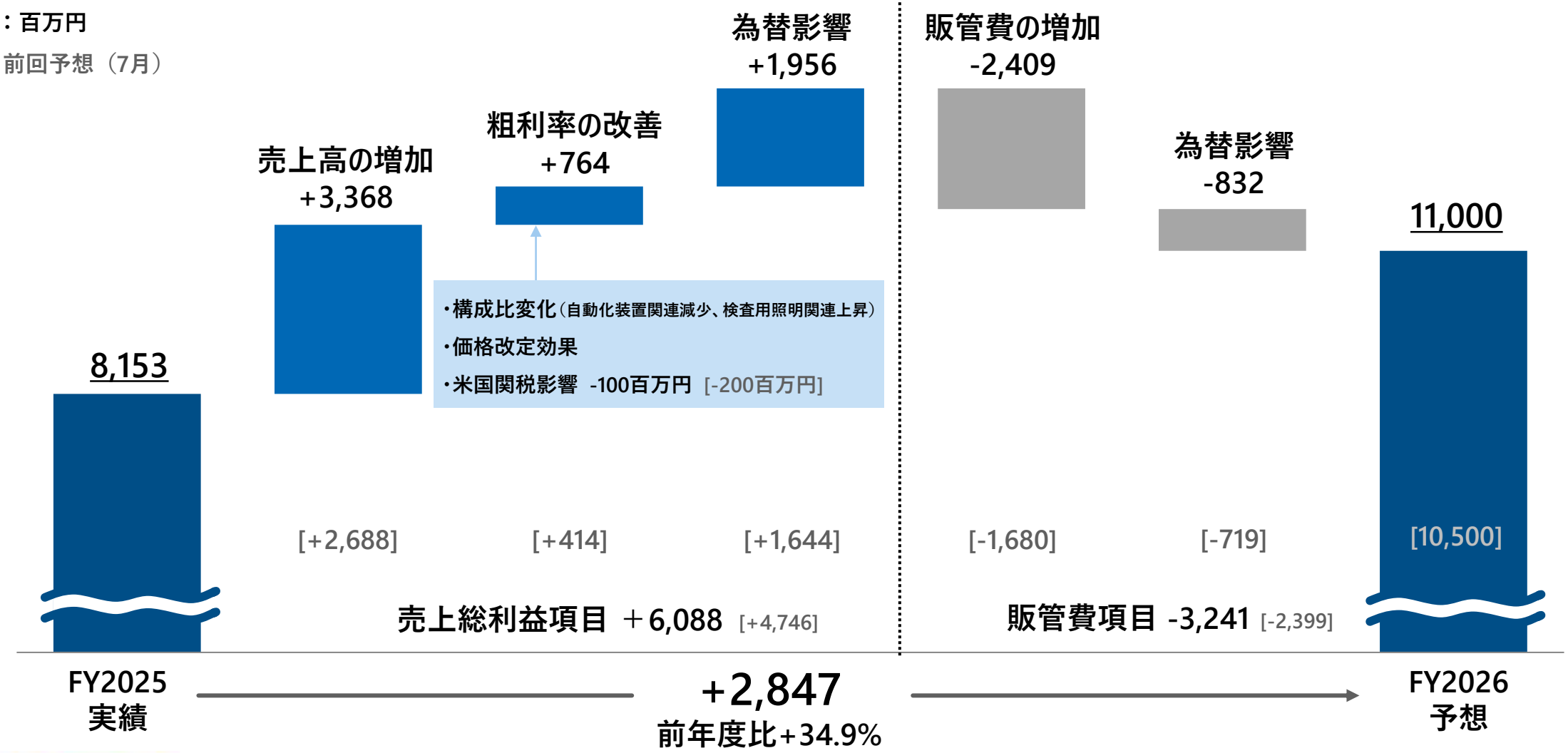
SS事業：Sensing Solution（センシングソリューション）事業

IA事業：Industrial Automation（インダストリアルオートメーション）事業

2026年12月期 連結業績予想 営業利益 増減要因 前年度比

単位：百万円

[ ]：前回予想（7月）



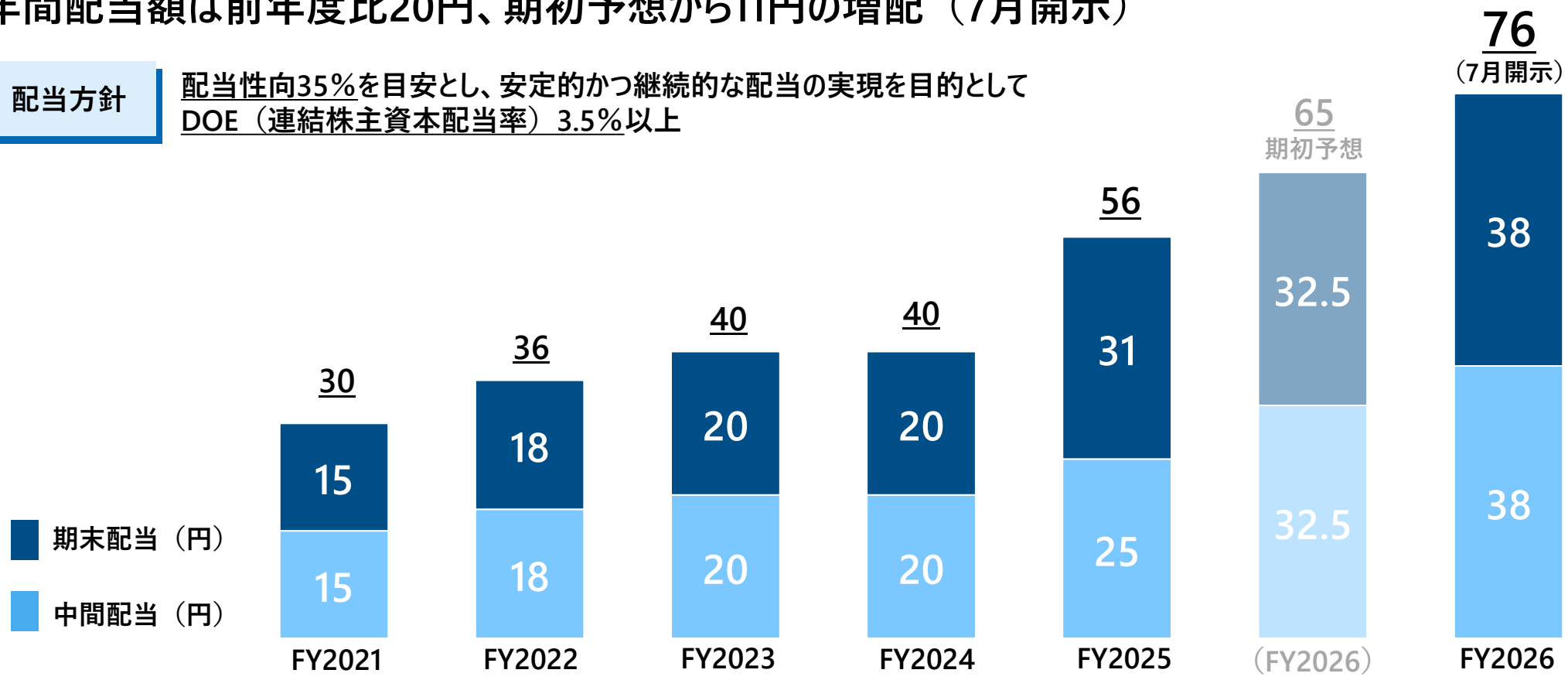
© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

株主還元

年間配当額は前年度比20円、期初予想から11円の増配（7月開示）

配当方針

配当性向35%を目安とし、安定的かつ継続的な配当の実現を目的として
DOE（連結株主資本配当率）3.5%以上



	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	(FY2026)	FY2026
配当性向	28.8%	26.9%	30.8%	25.0%	30.2%	35.1%	34.3%
DOE	3.2%	3.4%	3.4%	3.0%	3.8%	4.0%	4.6%
ROE	11.2%	12.8%	11.1%	12.2%	12.5%	-	-

自己株式取得
10億円(63万株)

© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

参考資料

© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

再掲（2026年2月開示）

2030年（FY2030）までの成長ビジョン

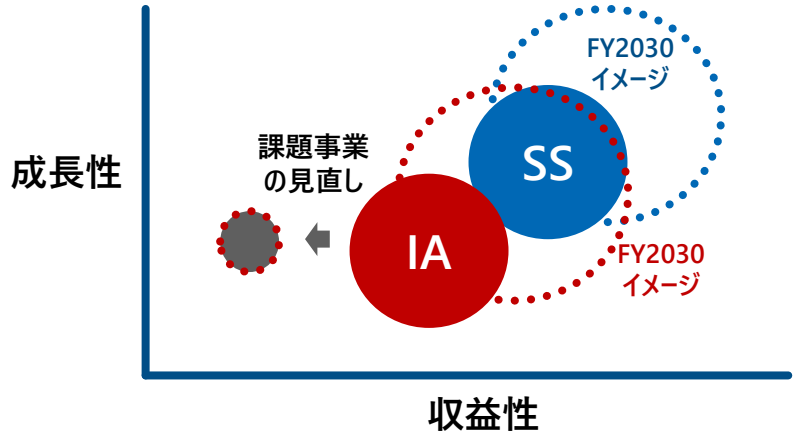
事業ポートフォリオ経営を徹底し、課題事業を果敢に見直す。
基幹事業はソリューション提案型へ進化させ、企業価値向上につなげる。

FY2030 企業価値創出に向けた重要指標

連結売上高：1,000億円
営業利益率：15%以上
ＲＯＥ：15%安定

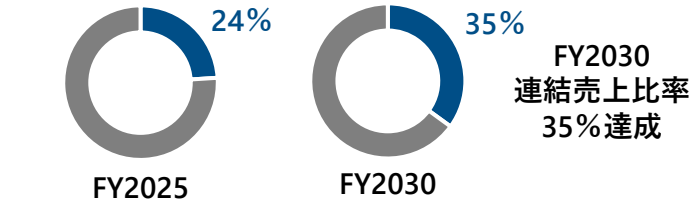
全事業に一律に投資するのではなく
経営資源の最適配分により
高収益・安定成長を実現する

FY2030 事業ポートフォリオイメージ



課題事業は、縮小や撤退を含め、
聖域なく見直す

ソリューション提案型のビジネスモデルを拡大



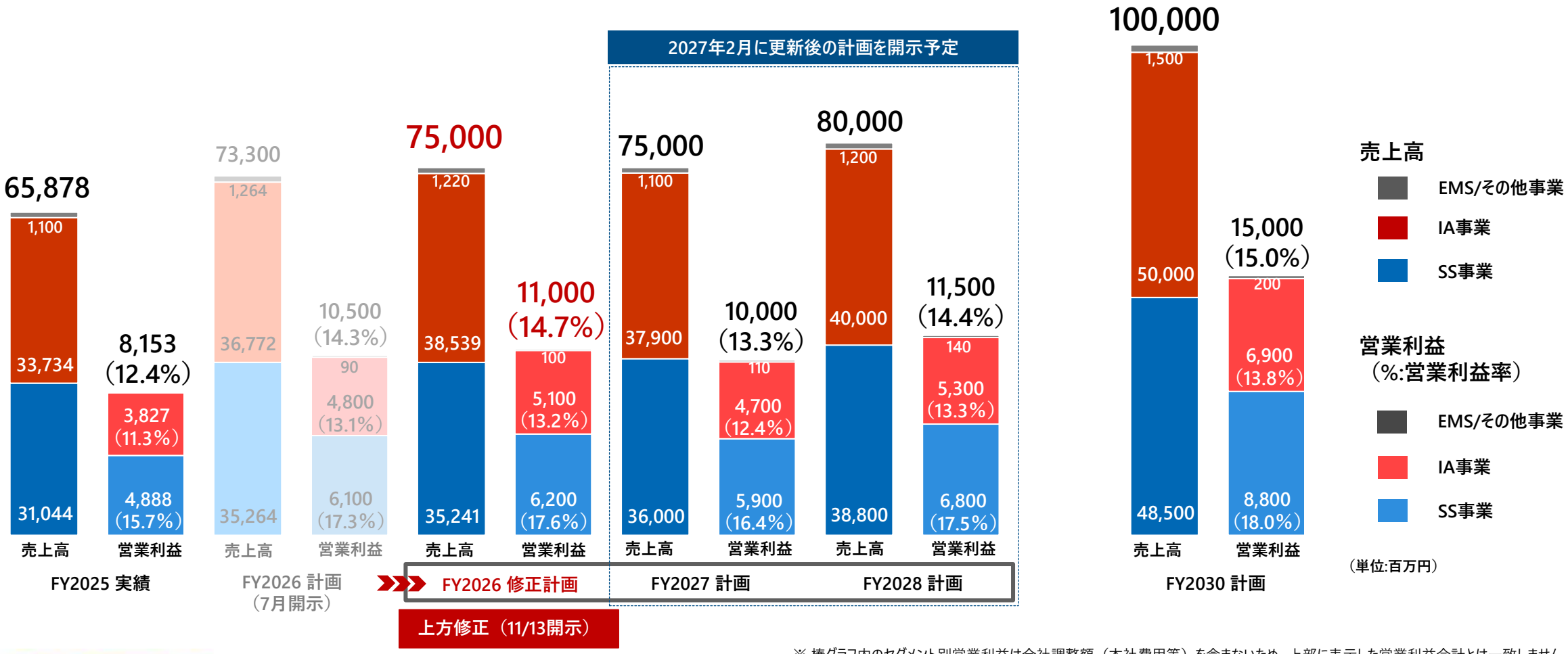
各事業において専門性をさらに磨き、
スピードを武器に競争を勝ち抜く

© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

3ヵ年（FY2026-2028）の経営計画

※当社では、市場環境の急速な変化に柔軟に対応するために、毎期改定するローリング方式で3ヵ年の経営計画を発表しています。

FY2027およびFY2028の計画値は、FY2026通期決算発表時（2027年2月）に3ヵ年経営計画のローリングを実施し、更新後の計画を開示予定。



※ 棒グラフ内のセグメント別営業利益は全社調整額（本社費用等）を含まないため、上部に表示した営業利益合計とは一致しません。

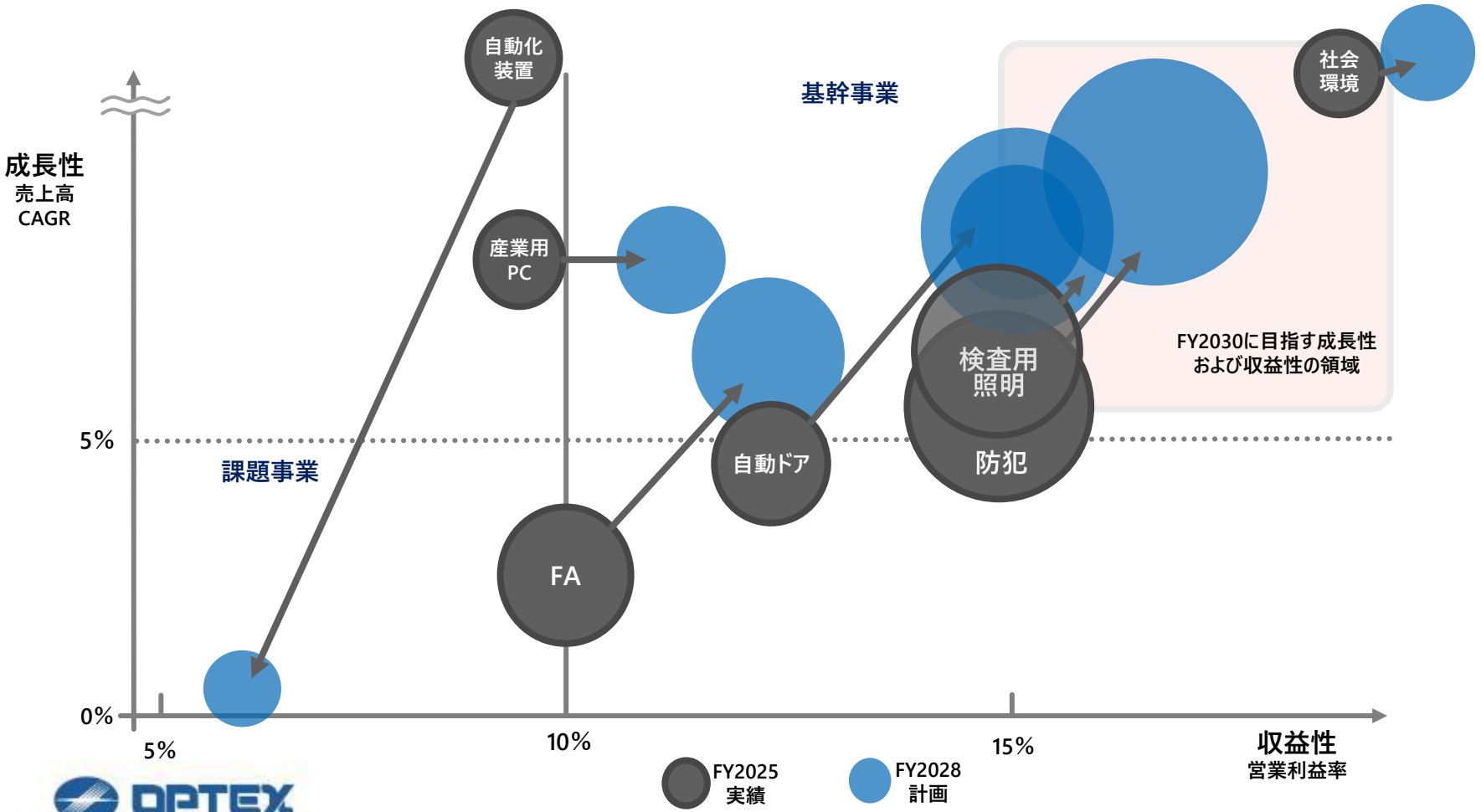
© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

再掲（2026年2月開示）

事業ポートフォリオ経営の推進

成長性および収益性の高い基幹事業へ経営資源を最適配分し、FY2028までの3年間で高収益体質を確立する。
FY2030には、営業利益率15％以上の達成を目指す。

成長性×収益性 ポートフォリオ



重点強化テーマ

基幹事業

- ✓ 開発・人材・販路・生産/供給等、経営資源を重点的に配分
- ✓ ソリューション提案ビジネスを拡大
- ✓ M&A/提携で非連続成長を取り込む

課題事業

- 成長性・収益性・戦略性の観点から評価を行う
- FY2028までに、縮小や撤退を含め、聖域なく見直す

注：

1. 円の大きさ＝売上規模
2. SS、FA、検査用照明：
   持株会社化以降CAGR
   FY2017-2025、FY2020-2028
   （※コロナ影響の大きいFY2020は算定から除外）
3. 産業用PC／自動化装置：
   連結子会社化以降CAGR
   ・産業用PC：FY2021-2025、FY2024-2028
   ・自動化装置：FY2022-2025、FY2025-2028

© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

再掲（2026年8月開示）

ソリューション提案ビジネスの目標および進捗状況

構造転換により、高付加価値製品の採用拡大につなげ、FY2030連結営業利益率15％達成を目指す。

従来型（モノ売り視点）

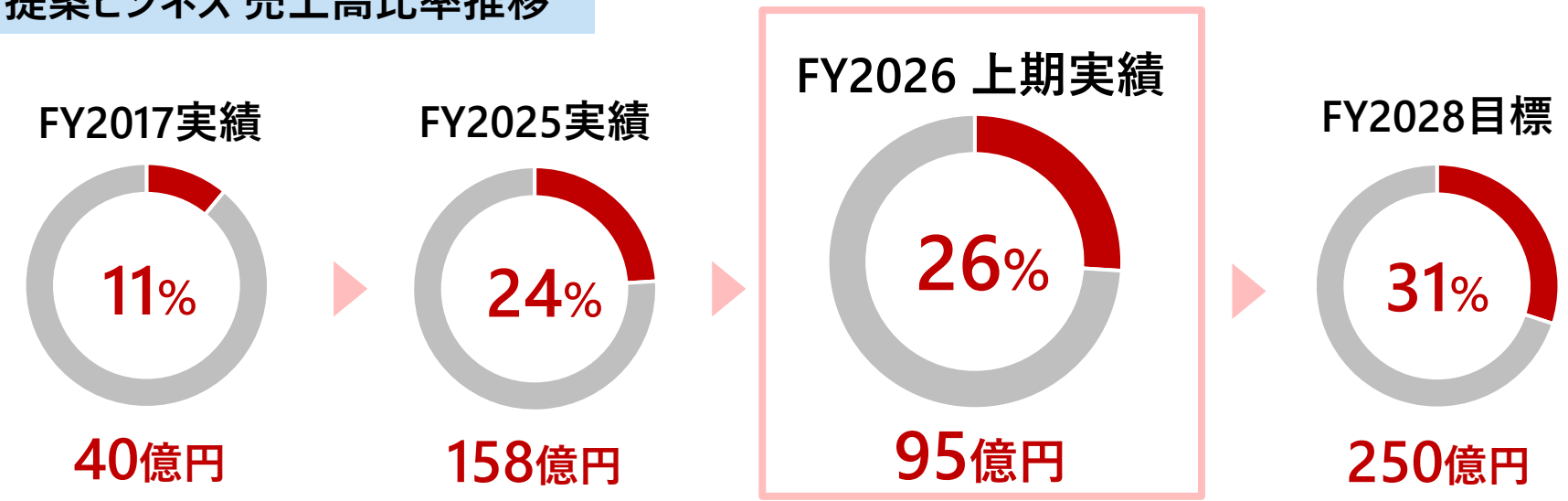
製品の販売
＝
高水準の仕様、性能、品質

ソリューション提案型（顧客の真の要望に焦点を当てる）

高付加価値製品の提供
＋
システム販売やセット販売、データ提供、アフターサービス強化など

✓トップラインの拡大　✓収益性の向上　✓継続性の強化

ソリューション提案ビジネス 売上高比率推移



© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

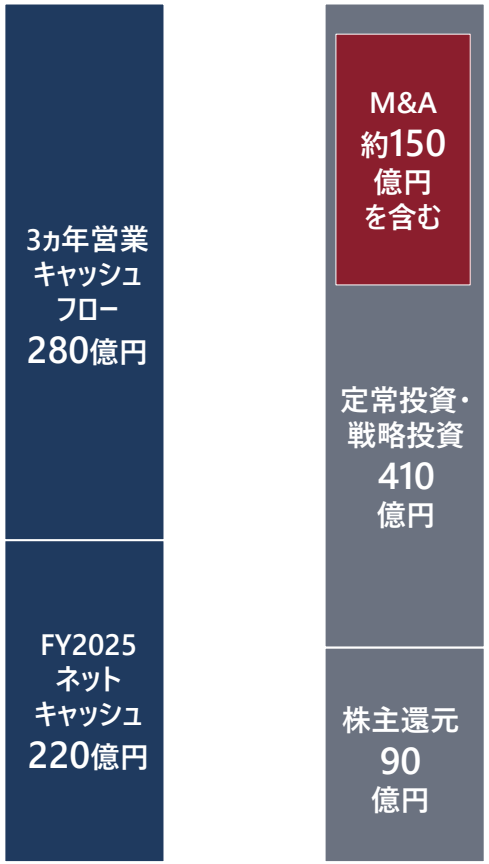
再掲（2026年2月開示）

キャピタルアロケーション計画

キャピタルアロケーション方針（FY2026−2028　3ヵ年経営計画）

FY2028に連結営業利益115億円の達成を前提に、戦略投資の中にM&A・提携投資として約150億円を配分する。

株主還元は、FY2026から配当性向35％を目安、DOE3.5％以上に変更。



原則、FCFの活用を最優先とし、必要に応じて有利子負債を機動的に活用する

- 約150億円
  - ：M&A・提携投資
- 約140億円
  - ：事業ポートフォリオ経営に基づく戦略投資や経営基盤強化を目的とした各種設備投資
  - ：IT・DX投資
- 約120億円
  - ：研究開発費用
- 配当方針
  - ・安定的配当、FY2026以降は配当性向「35％目安、DOE3.5％以上」
  - ・自己株式取得を必要に応じて機動的に実施

参考：キャッシュアウトの実行内訳（FY2025実績）

M&A・提携投資
約15億円
- ・防犯関連 アテクソール社（北欧）買収
- ・自動ドア関連 新技術獲得、開発業務提携

各種設備投資、DX投資
約38億円
- ・検査用照明関連 技術生産センター所有化
- ・中国自社工場の移転（外部要因）に伴う工場機能整備
- ・設備更新、IT基幹システム投資

研究開発費用
約38億円

配当金
（FY2025実績）　約20億円
（FY2026予想）　約23億円

© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

再掲（2026年2月開示）

M&A方針

基本方針

・規模拡大のみを追求せず、相乗効果・成長性・収益性を重視する。

・専門性を深めることで長期的な企業価値の向上に資するM&Aを目指す。

投資方針

・買収資金の優先順位は、①フリーキャッシュフロー ②借入とする。（且つ、株主資本コストを意識）

・想定した価値創出が見通せない場合には、事業価値最大化の観点から投資を見直す。

M&Aテーマ

専門領域拡張のため、基幹事業に関連する技術・知財・販路・人材を獲得し、
ソリューションの高度化を通じて収益基盤を強化する。

© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.


OPTEX

会社概要

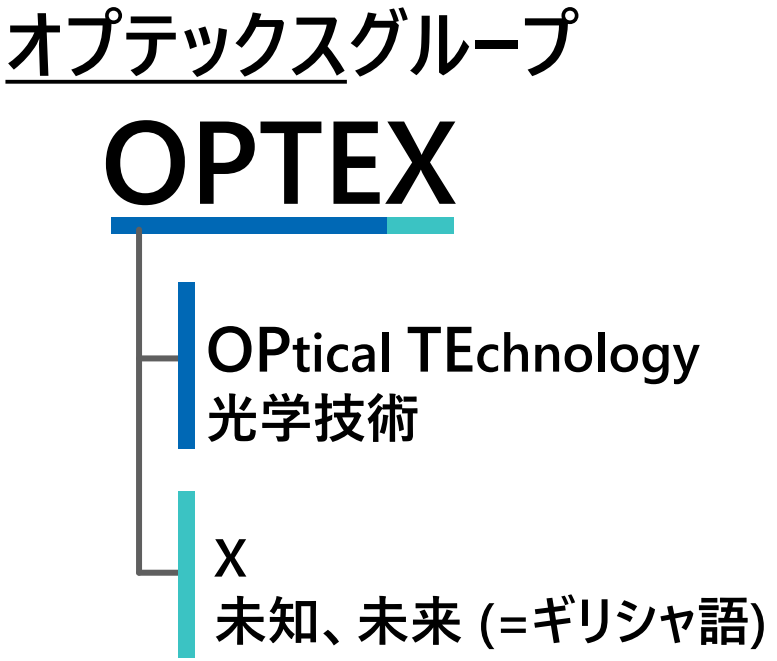
© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

会社概要

会社名	オプテックスグループ株式会社
所在地	滋賀県大津市
創立日	1979年5月25日
資本金	2,798百万円
売上高	65,878百万円
営業利益	8,153百万円
決算月	12月
証券コード	東京証券取引所プライム上場　6914
連結従業員数	2,162名　（派遣・パート・アルバイト除く）

※2025年12月末時点

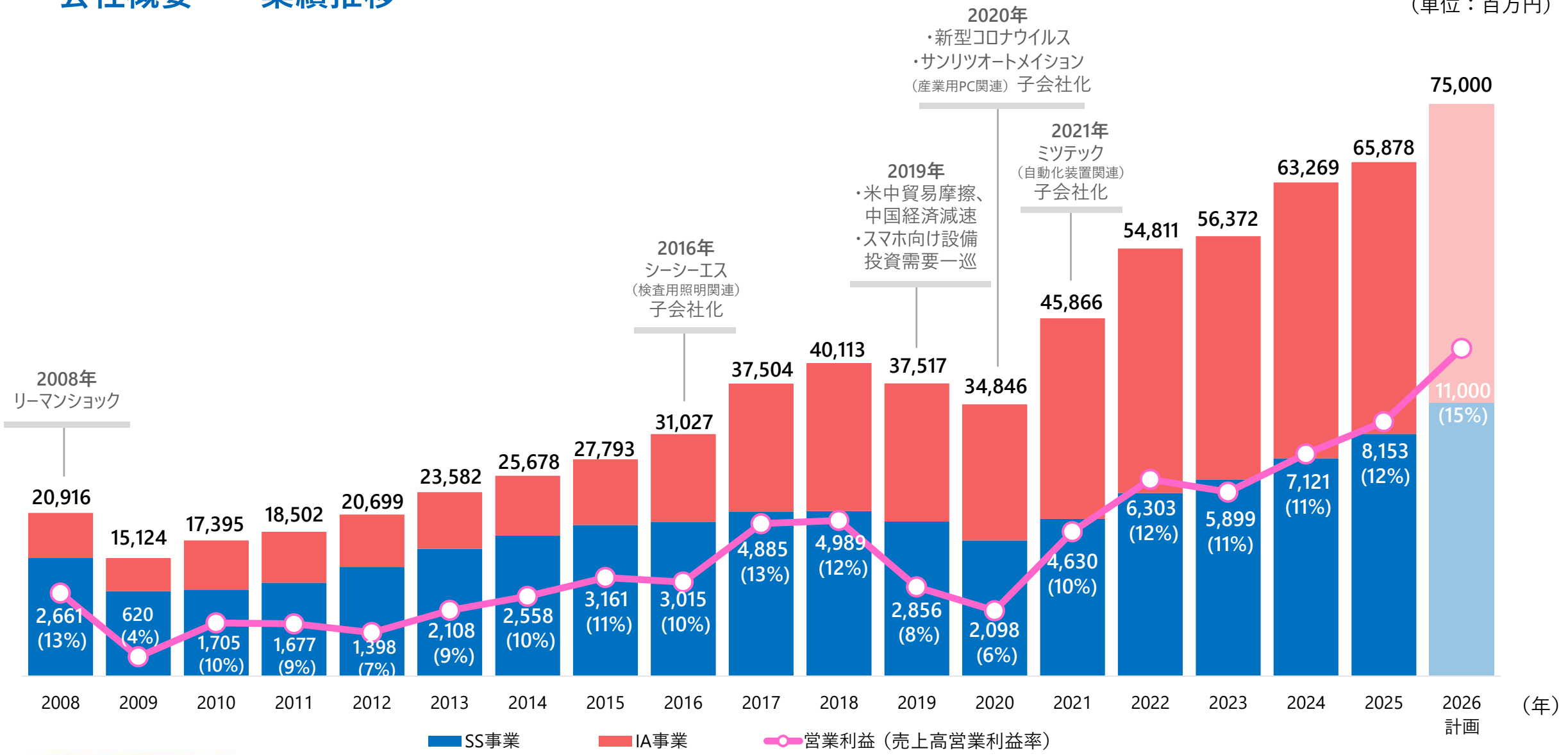
■ 会社名の由来



© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

会社概要　－業績推移

（単位：百万円）



© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

会社概要　－ 体制図

オプテックスグループ株式会社
（東証プライム上場　証券コード：6914）
持株会社

- **オプテックス株式会社**
  防犯用・自動ドア用等各種センサーの開発・製造・販売 — SS事業
- **オプテックス・エフエー株式会社**
  ファクトリーオートメーション用センサーの開発・製造・販売 — IA事業
- **シーシーエス株式会社**
  画像検査用照明の開発・製造・販売 — IA事業
- **サンリツオートメイション株式会社**
  産業用コンピュータの開発・製造・販売 — IA事業
- **ミツテック株式会社**
  自動化装置および画像処理検査装置の開発・製造・販売 — IA事業
- **オーパルオプテックス株式会社**
  アウトドアアクティビティおよび環境体験学習の運営 — その他事業

© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

会社概要　－ 事業構成

オプテックスグループはグローバルニッチNo.1を目指す企業集団です

IA（インダストリアルオートメーション）事業

自動化装置関連

自動車向けの二次電池製造装置を提供



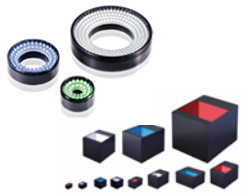
産業用PC関連

半導体製造装置向けの組込ボードや
空港向けの追尾用カメラを提供



検査用照明関連

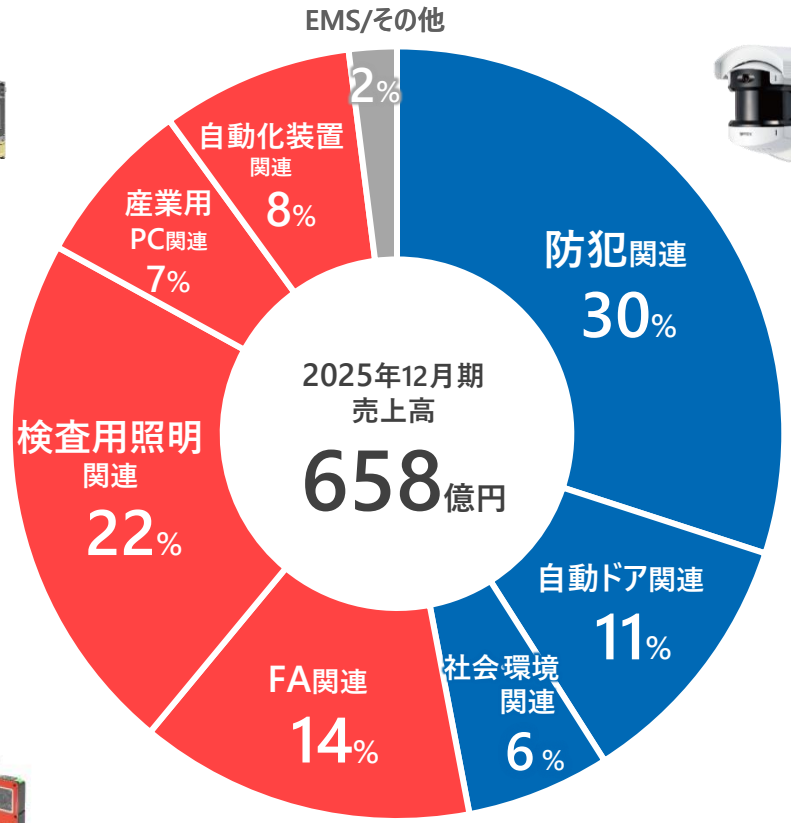
工場の検査工程で検査の品質向上に
役立つ照明を提供



FA関連

工場の生産工程で自動化・省人化に
役立つセンサーを提供





SS（センシングソリューション）事業



防犯関連

住宅、事業所、大型重要施設向けの
防犯センサーを提供



自動ドア関連

自動ドア用センサー、工場や倉庫の
シャッター用センサーを提供

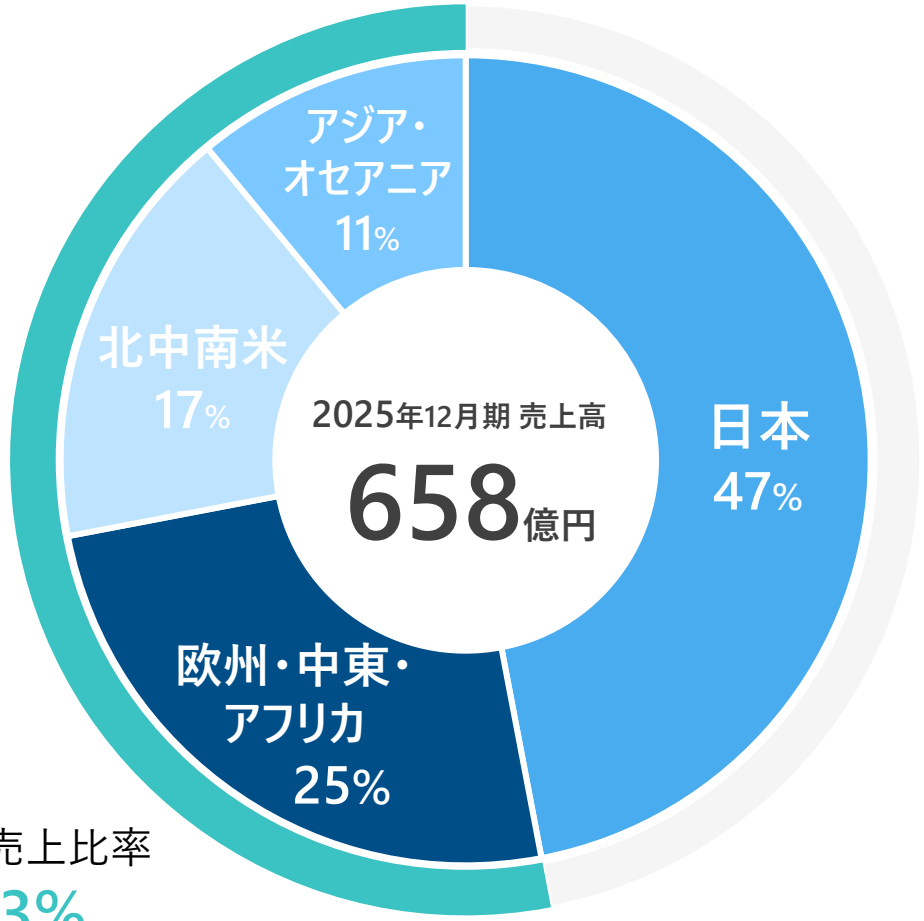


社会・環境関連

駐車場向けの車両検知センサーや
上水・下水向けの水質計測センサーを提供

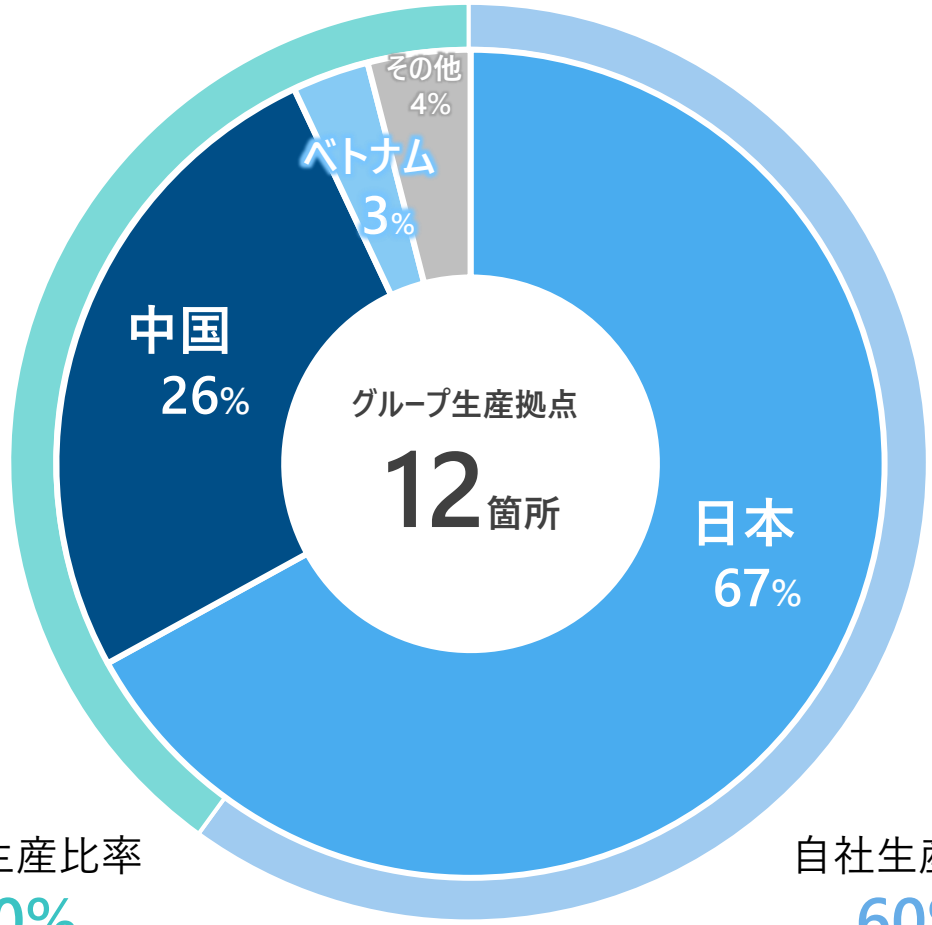
© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

会社概要　－ 地域別構成、生産拠点地域別構成



海外売上比率
53%

地域別売上構成比



外部生産比率
40%

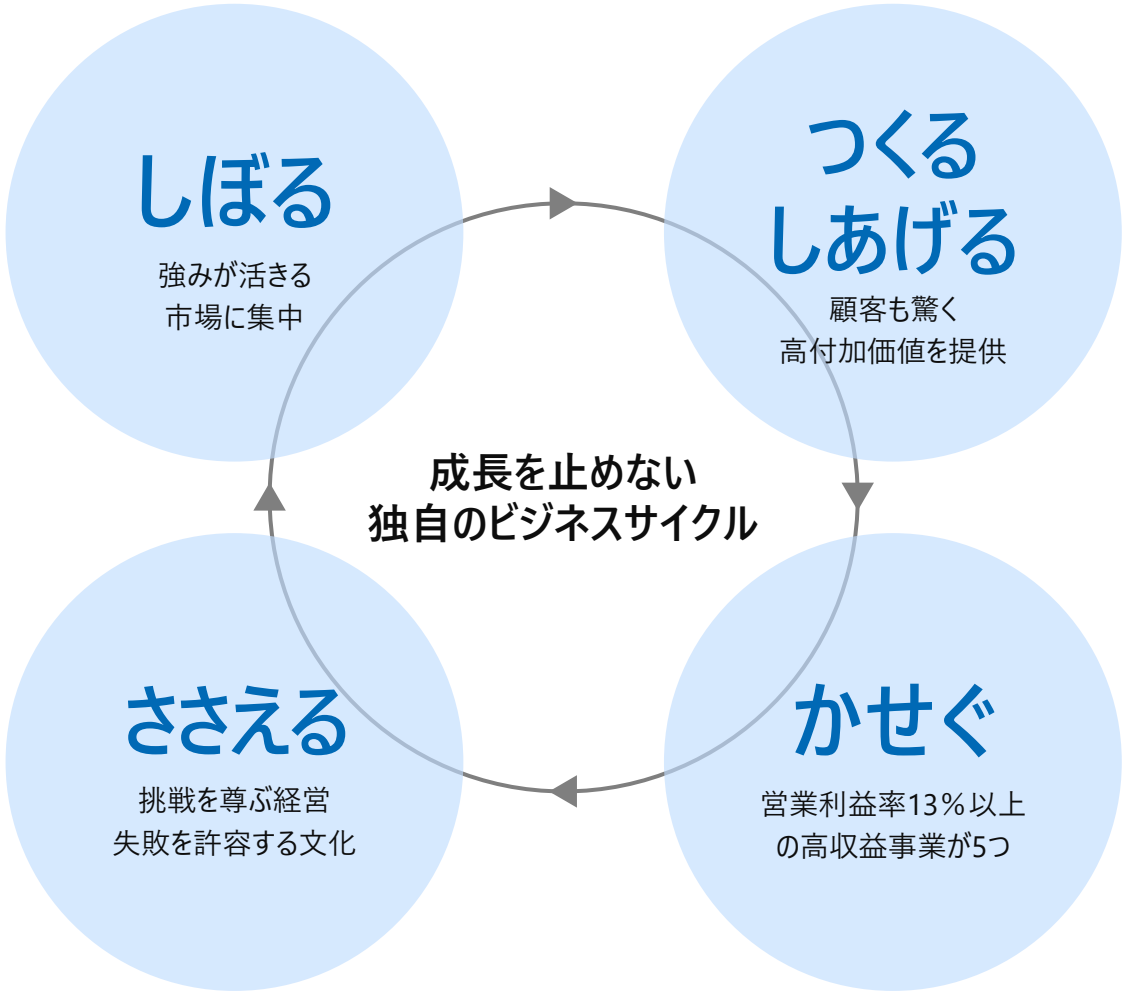
自社生産比率
60%

生産拠点地域別構成比

© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

グローバルニッチNo.1 実現のビジネスサイクル

私たちは世界で唯一の価値を提供し続け、顧客や社会から信頼される企業を目指しています。規模より価値を重視し、強みを活かせる分野に集中して付加価値を持続的に提供することで、収益性と社会価値の両立を実現します。挑戦を尊び、失敗から学ぶ文化を基盤に、グローバルニッチNo.1を追求していきます。



© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

会社概要　– オプテックスグループの強み

グローバルニッチ市場でトップシェアを誇る製品群を展開



屋外用侵入検知センサー

（SS事業 防犯関連）

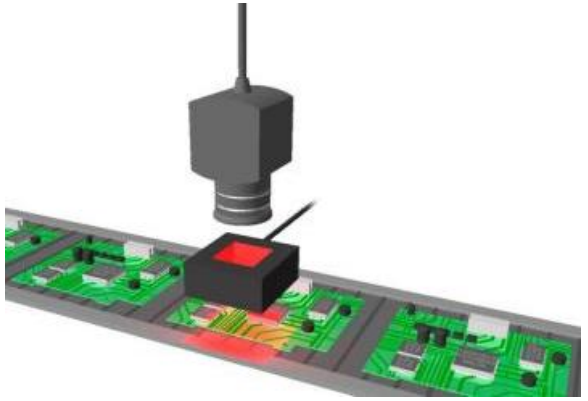
グローバルシェア
40%



自動ドアセンサー

（SS事業 自動ドア関連）

グローバルシェア
30%



検査用LED照明

（IA事業 検査用照明関連）

グローバルシェア
30%

© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

事業概要　－SS事業 防犯関連

屋外用侵入検知センサー グローバルシェア40%

【警備会社】
駆け付けサービス



欧米では警察が駆け付け



屋外用センサー

注意、警告



【警備員室】
画像監視





屋外用センサーと
監視カメラが連動

レジデンシャル（住宅）向け



高級住宅（海外）

コマーシャル（事業所・倉庫等）向け



事業所

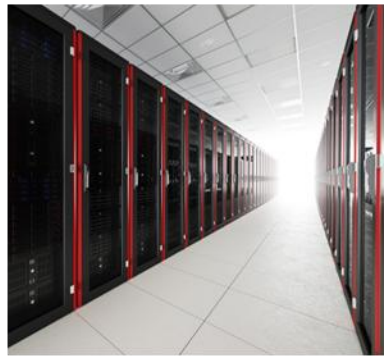


倉庫

ハイセキュリティ（大型重要施設）向け



発電所・石油インフラ施設



データセンター

© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

事業概要　－SS事業 自動ドア関連

自動ドアセンサー グローバルシェア30%

1980年 世界初 遠赤外線式自動ドア用センサーを開発



マットスイッチ（床）



自動ドア用センサー1号機

空調エネルギーロスを減らし、CO2削減に貢献





無駄開きを抑止し、冷気や暖気の漏れを防ぐ

ショッピングセンター



コンビニエンスストア



病院



工場、倉庫用シャッター



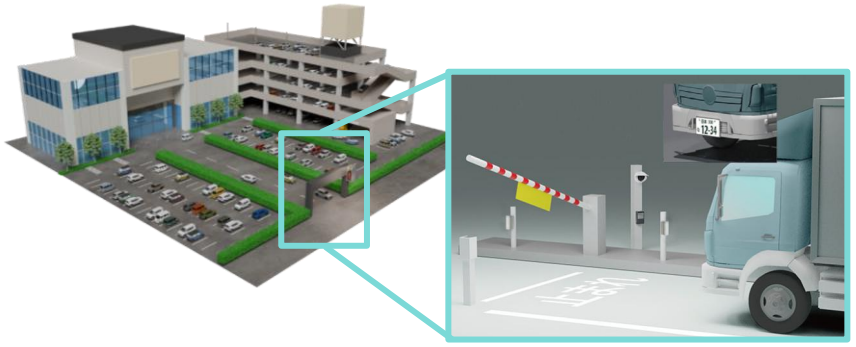
© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

事業概要　－SS事業 社会・環境関連

車両検知センサー　：環境負荷の少ない車両検知センサーで、駐車場や交通インフラの快適性を実現

■ 駐車場の管理システム

商業施設などの駐車場向け スマートパーキングソリューション



車番認証システム

■ ゲート開閉

住宅、事業所等向け ゲート自動開閉用途



埋設工事不要で
施工・メンテナンスが容易

商業施設、公共施設



コインパーキング



水質計測センサー　：水質測定からデータ管理まで自動化し、水質監視と予防保全の効率化を実現





センサー



変換器

ゲートウェイ



データマネージメント
サービス

浄水場、工場



養殖場



© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

事業概要　－IA事業 FA関連

工場の生産工程で自動化、省人化に役立つセンサーを提供

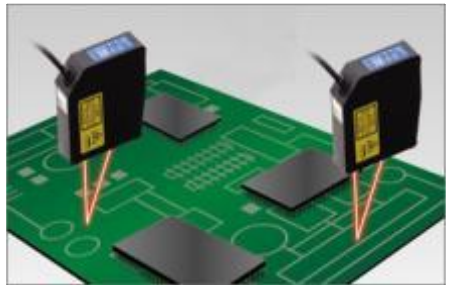
半導体、電気・電子部品業界向け

変位センサー





スマートフォンのフレームの高さ測定

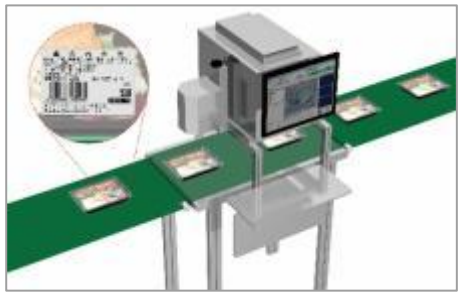


基板の傾き、ソリ測定

三品業界向け（食品、医薬品、化粧品）

画像センサー





弁当・惣菜の食品表示ラベル検査

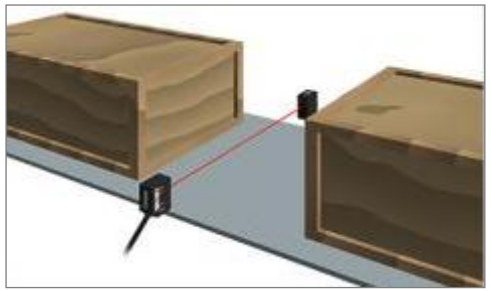


牛乳の賞味期限印字検査

物流業界向け

光電センサー





段ボールや木箱の通過検出



自動倉庫ではみ出し検出

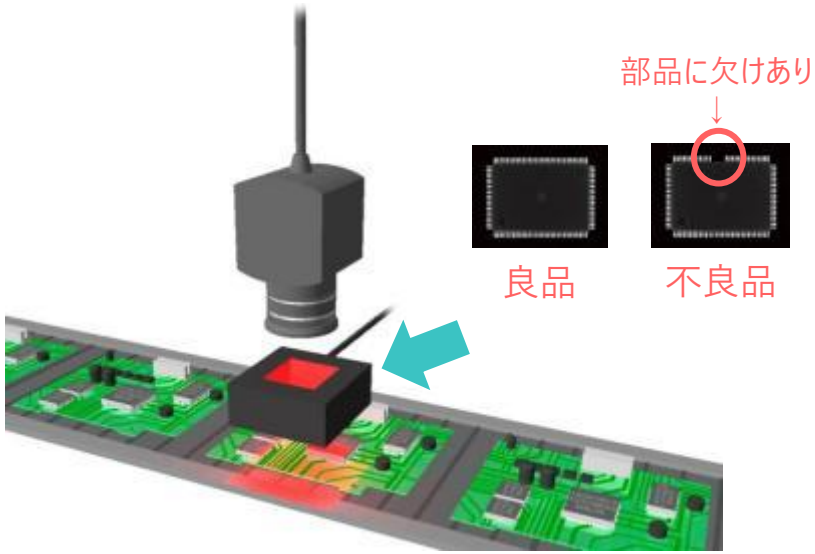
© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

事業概要　－IA事業 検査用照明関連

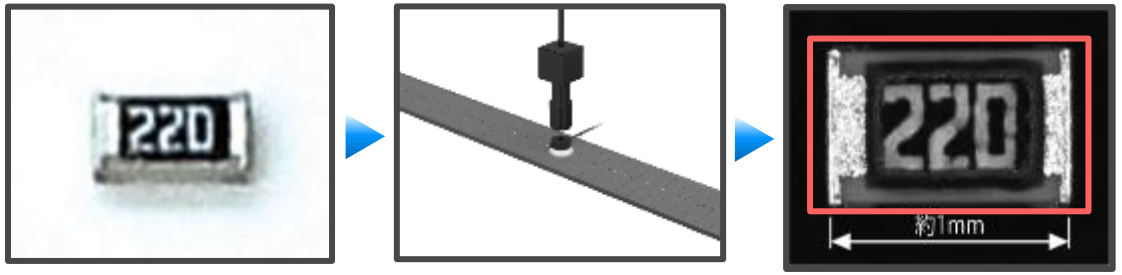
検査用LED照明 グローバルシェア30%

検査用照明

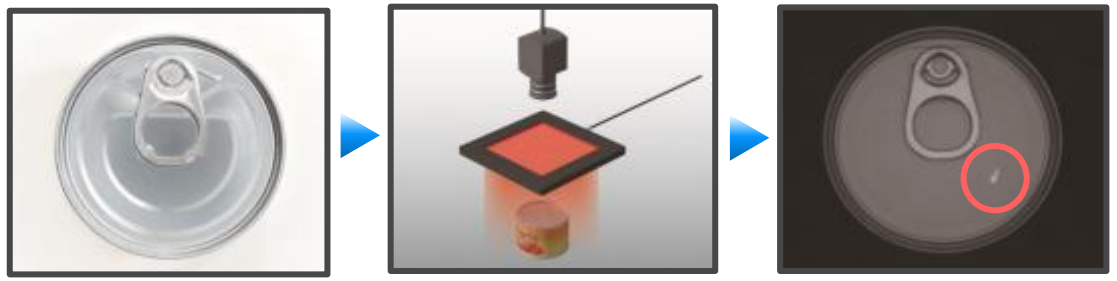
工場で何かを生産する場合は、各工程ごとに必ず「検査」のプロセスがあり、検査対象物を照明・電源、レンズ・カメラを使って撮像し、
画像を基に「良品 or 不良品」の判定を行います。



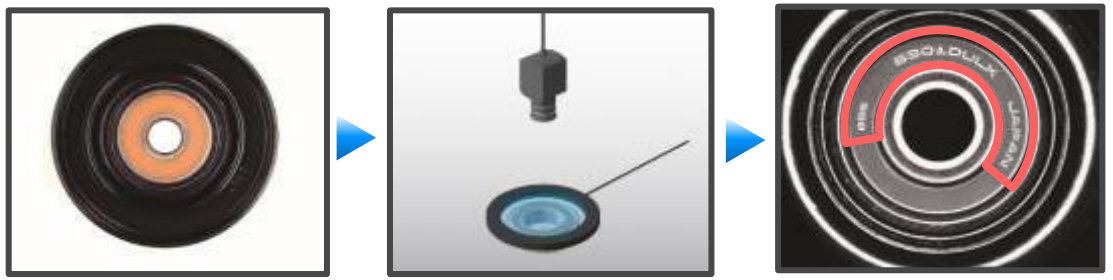
プリント基板の実装部品欠陥検査



小型チップ部品の文字・形状観察撮像



缶詰表面の汚れ撮像



ベアリングの刻印文字撮像

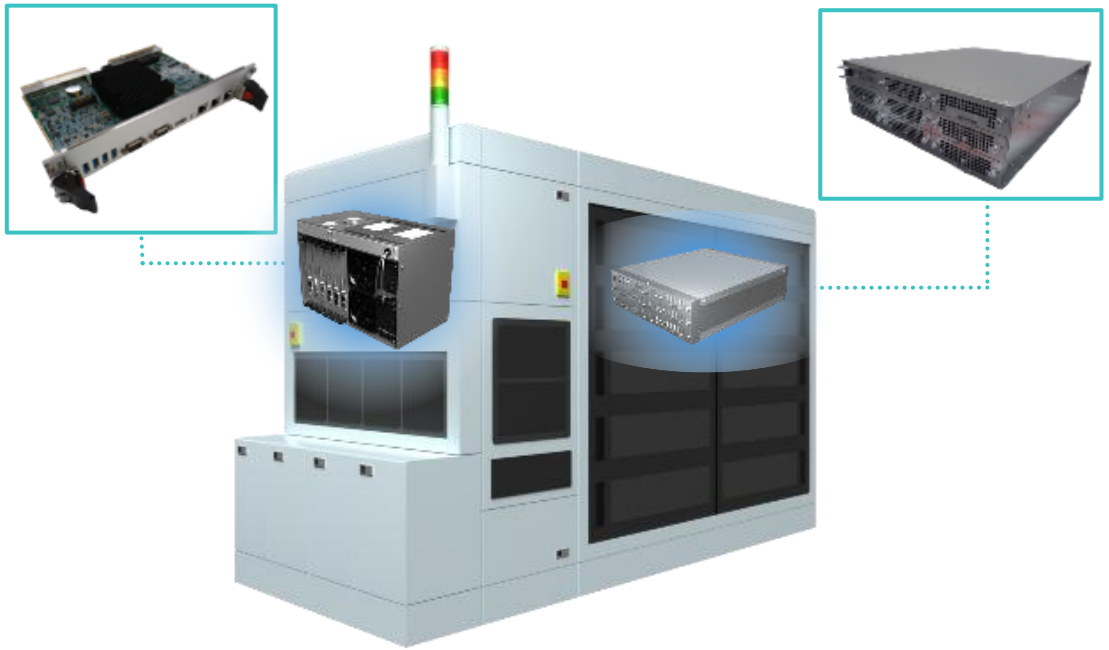
© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

事業概要　－IA事業 産業用PC関連

半導体製造装置向けの組込ボードや空港向けの追尾用カメラを提供

産業用組込みボード

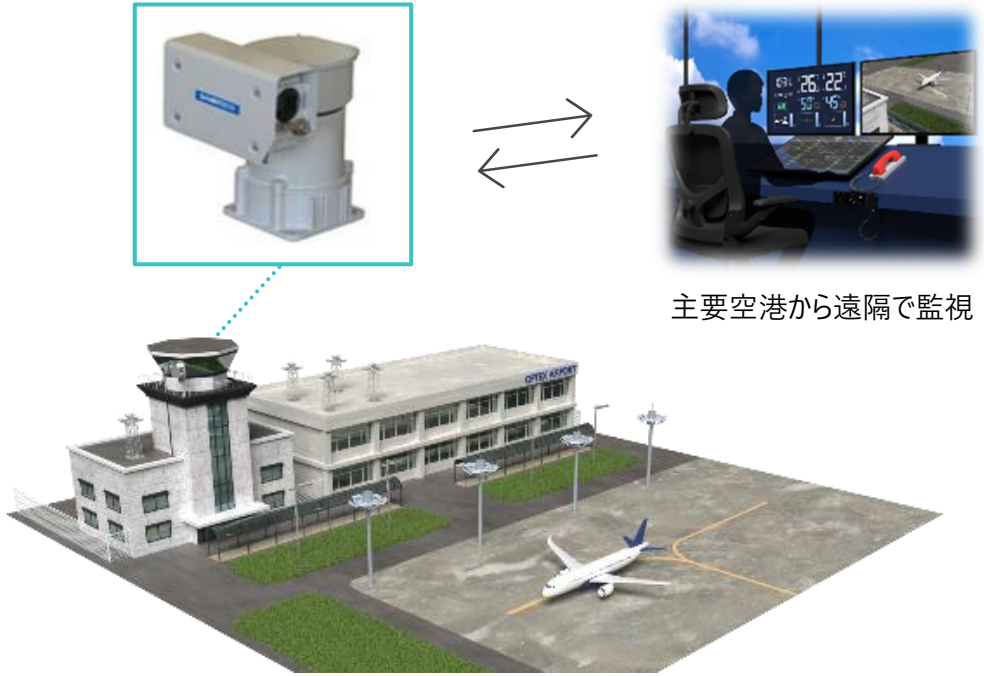
半導体製造装置や医療・通信などの生産性向上に
貢献するコンピュータ・プラットフォームを提供



半導体製造装置のイメージ

生産・社会インフラシステム

自動追尾用カメラ等のシステムを提供し、
空港等、社会インフラの課題解決に貢献



主要空港から遠隔で監視

地方空港のイメージ

© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

事業概要　－IA事業 自動化装置関連

自動化装置や画像処理検査・計測装置を提供

自動化装置

高度なメカトロ技術を保有

- ✓　高速・高精度充填技術
- ✓　高速搬送技術　等



二次電池製造装置等の自動化装置の開発

画像処理検査／計測装置

モノを動かす「Motion技術」	×	モノを視る「Vision技術」

お客様の課題に合わせてカメラ、LED照明、各種測定機等を組み合わせた画像処理検査システムを構築





© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

サステナビリティ

当社はサステナビリティ基本方針の元、ESG課題に積極的に対応し企業価値の向上に努めています。
詳細は「サステナビリティ・ハイライト」をご覧ください（レポートはこちら）。

Environmental（環境）

環境課題への取り組み

【TCFD提言への賛同】
「2030年までに2019年度比CO2排出量を30％以上削減する」という中長期目標を設定し、気候変動対応プロジェクトを中心にTCFDの枠組みに沿った対応を推進

【製品・ソリューションでCO2削減に貢献】
環境配慮型の製品・ソリューションの普及拡大に取り組む

自動ドア用センサー



無駄な開閉を防止することにより空調効率を改善

画像検査用LED照明



明るさを自動管理するフィードバック制御により省エネを実現

Social（社会）

社会課題への取り組み

「自己実現No.1」の会社を目指し、
社員の成長のサポートや能力発揮のための
人材育成と職場環境の整備を推進。





2026
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門

健康意識の向上や生活習慣の改善、
メンタルヘルス対策の強化の取り組みにより、
優良な健康経営に取り組む企業として、
オプテックス㈱、オプテックス・エフエー㈱の
2社が「健康経営優良法人」に認定。

Governance（ガバナンス）

企業統治への取り組み

当社の取締役会は、企業経営・経営管理、
技術開発、生産、営業販売、海外での勤務経験、
会計の専門性等をそれぞれ有効に活用する取締役
５名（男性４名、女性１名）と、豊富な監査経験、
税理士、公認会計士、弁護士の資格を有する等、
高い見識と知見を有する監査等委員である取締役
３名（男性２名、女性１名）で構成されています。
（2026年3月27日現在）



取締役会での活発な議論を通じた意思決定で
戦略の質を高め、更なる企業価値の向上を実現。

© 2026 OPTEX GROUP CO., LTD.

https://www.optexgroup.co.jp/